

石垣市スポーツ推進計画 (案)

令和2年__月

石 垣 市

石垣市スポーツ推進計画（案）

目 次

第1章 計画策定の目的等	1
1－1 策定の目的	1
1－2 計画の位置づけ及び期間.....	2
第2章 スポーツに関する現状と課題	3
2－1 これまでのスポーツ推進の取組	3
2－2 スポーツ推進に関する関連計画	4
(1) 国の計画及び政策動向	4
(2) 沖縄県の計画及び政策動向	5
(3) 本市におけるスポーツ推進の関連計画.....	8
2－3 本市のスポーツ環境の現状	12
(1) 市民のスポーツ活動の現状	12
(2) スポーツ関係団体等の現状	18
(3) スポーツ施設等の現状	22
(4) スポーツイベント及びスポーツツーリズムの現状	29
2－4 本市のスポーツ推進に関する課題の整理.....	33
第3章 スポーツ推進の基本的な方向性	36
3－1 目指す将来像.....	36
3－2 取り組むべき施策の基本方針.....	37
3－3 施策体系.....	38
第4章 施策	39
4－1 基本方針Ⅰ 市民一人ひとりが輝くスポーツの推進.....	39
4－2 基本方針Ⅱ 夢と希望を与える競技スポーツの推進.....	42
4－3 基本方針Ⅲ スポーツによる地域活性化の推進	43
4－4 基本方針Ⅳ スポーツ施設等の有効活用と整備の推進	47
第5章 推進体制	49
5－1 施策・取組の進行管理	49
5－2 推進体制.....	50
5－3 体制の充実に向けて	51

第1章 計画策定の目的等

1-1 策定の目的

石垣市（以下、「本市」という。）では、平成17年3月に「石垣市スポーツ振興基本計画」を策定し、「市民皆スポーツ」の実現を目指して、スポーツ振興施策を体系的・計画的に推進してきました。

その後、平成23年6月にスポーツ基本法が制定され、また、平成24年3月にスポーツ基本計画が策定されたことにより、スポーツを新たな概念で捉えて推進する枠組みが整えられ、その価値を最大限に発揮させる方向性のもと国家戦略として取組が進められています。

国のスポーツ基本計画では、スポーツは「みんなのもの」で「する」「みる」「ささえる」ものとして参画人口の拡大を目指す考え方、そして、スポーツで「人生」「社会」を変え、「世界」とつながり、「未来」を創るという指針を定めています。

そして、平成25年3月に沖縄県スポーツ推進計画が策定され、地理的・自然的条件とスポーツ資源を有効に活かした「アジア、世界に開かれたスポーツアイランド」を将来像に掲げ、世界の人々とのスポーツの交流を通じて国際的なブランド価値を高める方向性が重視されています。

本市においては、市民が気軽に参加できるイベント開催、島の自然等の魅力を活かしたラン・スイム等の大会、プロチームやアスリートのキャンプなど、既に様々な取組が実施されています。

スポーツの推進により、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現や健康・長寿の維持増進、国際舞台で活躍できる人材の育成・強化、スポーツ産業の拡がりに伴う雇用創出等の経済効果、健康維持・増進による介護・医療費の節減等の様々な効果が期待されます。

したがって、市民の健康づくりやスポーツ環境の充実、スポーツを通じた地域の活性化のさらなる進展に向けて、これまでの石垣市スポーツ振興基本計画を踏まえつつ、本市のスポーツ活動の課題や地域特性等を活かした新たな施策の構築により、様々な効果を創出することを目的として、石垣市スポーツ推進計画（以下、「本計画」という。）を策定します。

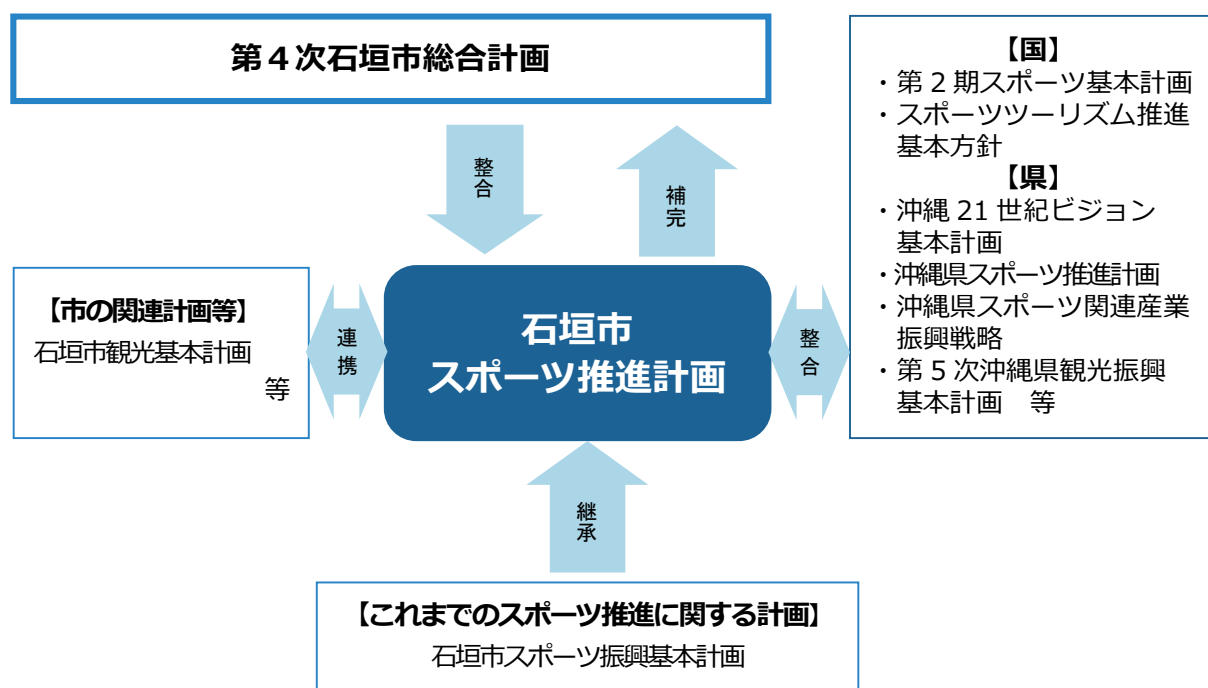
1-2 計画の位置づけ及び期間

(1) 計画の位置づけ

本計画は、上位計画となる第4次石垣市総合計画に基づくスポーツ施策を具体化するための部門計画として位置づけられており、国・県及び本市の関連する諸計画との整合を図るものとします。

また、本計画は、これまでのスポーツ推進に関する計画である「石垣市スポーツ振興基本計画」の施策等を継承するとともに、スポーツの捉え方の広がりをも踏まえた新たな方向性を加味して策定します。

【本計画及び各種計画の関係性】



(2) 計画期間

本計画の計画期間は、計画策定時から10年間（令和2年度～令和11年度）とします。

また、計画の進捗状況や社会情勢の変化等に対応するため、評価及び検証を行った上で、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

計画期間：令和2年度～令和11年度（10年間）

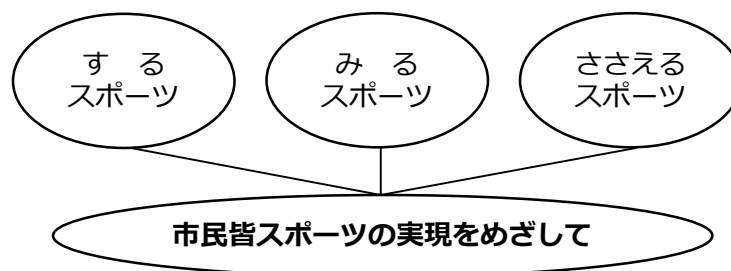
第2章 スポーツに関する現状と課題

2-1 これまでのスポーツ推進の取組

本市のスポーツ推進に関する計画として、「石垣市スポーツ振興基本計画」を平成17年3月に策定し、「する」「みる」「ささえる」スポーツにより「市民皆スポーツ」を実現することを目指して施策を推進してきました。

【石垣市スポーツ振興基本計画（平成17年3月）の概要】

＜基本理念＞



＜主要施策＞

主要施策	展開方策
市民ひとりひとりが輝くスポーツの推進	① 身近で気軽にスポーツに親しむ環境の推進 ② 総合型地域スポーツクラブの組織化と支援体制の推進 ③ マリンスポーツ・スカイスポーツの普及・促進 ④ 指導者の発掘及び養成・確保と有効活用 ⑤ スポーツ情報の提供 ⑥ 障がい者のスポーツ活動の普及・充実
市民に夢と希望を与える競技スポーツの推進	① 県民体育大会・九州及び全国大会で活躍できる選手の育成 ② 一貫指導システムの構築 ③ 指導者の養成・確保 ④ 競技者を育てる環境の整備
たくましい心と体を育む学校体育・スポーツの推進	① 体力向上と健康づくりのための教科体育の充実 ② 運動部活動の充実 ③ 指導者の意義の高揚と資質の向上の推進 ④ 全国大会（高校総体等）の誘致・開催
スポーツ施設の有効活用	① 施設の有効活用の促進

本計画については、これまでに取り組んできた施策を継承するとともに、国及び県が示す新たな方向性を取り入れた形で策定します。

2-2 スポーツ推進における関連計画

(1) 国の計画及び政策動向

①第2期スポーツ基本計画

平成29年3月に文部科学省が策定した「第2期スポーツ推進計画」において、中長期的なスポーツ政策の基本方針として、下記内容が掲げられています。

スポーツは「世界共通の人類の文化」であり、国民の成熟した文化としてスポーツを一層根付かせ豊かな未来を創ることが、スポーツ振興に携わる者の最大の使命である。

スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。

今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策として、以下4点が示されています。

1. スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実
2. スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
3. 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

【第2期スポーツ基本計画のポイント】



②スポーツツーリズム推進基本方針

平成23年の「スポーツツーリズム推進基本方針」において、「スポーツとツーリズムの融合で目指すべき姿」として「より豊かなニッポン観光の創造」と「スポーツとツーリズムの更なる融合」の2点が掲げられており、スポーツツーリズムに期待する効果としては以下の3点が挙げられています。

1. 訪日外国人旅行者の増加
2. 国際イベントの開催件数増加
3. 国内観光旅行の宿泊数・消費額の増加

スポーツツーリズムの推進に向けた基本的方向として、以下5点が掲げられています。

1. **魅せる**スポーツコンテンツづくりと**スポーツ観光まちづくり**
2. 国際競技大会の積極的な招致・開催
3. **旅行商品化と情報発信**の推進
4. **スポーツツーリズム人材の育成・活用**
5. オールジャパンのスポーツツーリズム推進連携組織（JSTA）の創設

【スポーツツーリズム推進基本計画（ポイント）】



（２）沖縄県におけるスポーツ推進の関連計画

① 沖縄 21 世紀ビジョン基本計画【改定計画】

平成 29 年 5 月に改定された「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」では、「時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな『美ら島』おきなわ」の実現に向けて、各分野における基本的指針や施策展開の基軸的な考え、施策展開の枠組みなどが示されています。

その中でスポーツに関連する施策としては、大きくは基本施策の「2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」において、以下のように示されています。

(1) 健康・長寿おきなわの推進

【基本施策の展開方向】

県民の健康な体づくりを促す生涯スポーツや競技スポーツ及びスポーツコンベンションを推進し、「スポーツアイランド沖縄」の形成を目指します。

【施策展開】

イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

県民がスポーツに親しみ健康の維持・増進が図られる生涯スポーツの推進や競技スポーツにおけるトップアスリートの育成、県民がスポーツに触れる機会の創出を図るとともに、地域振興にも寄与するスポーツコンベンションを推進することにより、スポーツアイランド沖縄の形成を目指します。

また、健康福祉の観点では、以下のように示されています。

(3) 健康福祉セーフティネットの充実

【施策展開】

イ 障害のある人が活動できる環境づくり

社会参加の促進については、スポーツや文化的活動に積極的に参加できるような環境づくりに取り組みます。

②沖縄県スポーツ推進計画

平成 25 年 3 月策定の「沖縄県スポーツ推進計画」においては、「スポーツアイランド沖縄」の形成とともに、国際的な沖縄観光ブランドの確立や世界との交流ネットワークの構築を計画の目標に掲げられています。

また、目指す将来像として「アジア、世界に開かれたスポーツアイランド沖縄」を掲げ、5 つの将来イメージのもと、以下の 7 つの基本方針が掲げられています。

1. 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
2. 一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
3. 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
4. トップスポーツを目指す競技力の向上に向けたスポーツ環境の整備
5. トップスポーツと地域スポーツの連携・協働の推進
6. スポーツを活用した地域活性化の推進
7. 地域のスポーツ資源を活かした特色あるスポーツの推進

③沖縄県スポーツ関連産業振興戦略

平成 27 年 3 月策定の「沖縄県スポーツ関連産業振興戦略」においては、「スポーツ関連産業等の実態の把握、課題の抽出を行うとともに、今後、沖縄県で取り組むべき重点分野を選定し、スポーツの産業化に向けた戦略を構築する」ことを目的とし、以下の 3 つの基本方針が定められています。

1. 「スポーツアイランド沖縄」実現への貢献
2. あらゆる産業とスポーツの連携
3. 地域経済・雇用への波及効果の創出

また、スポーツ関連産業振興に向けて以下の 8 つのシナリオが掲げられています。

1. トップスポーツクラブを活用したスポーツ関連産業の活性化
2. 沖縄産資源を活用したスポーツ関連食品の開発
3. 健康分野におけるスポーツの活用
4. スポーツ関連産業の企業誘致
5. スポーツ選手・OG/OB によるスクール・コーチング事業
6. 国内外観光客を対象としたスポーツツーリズムの基盤強化
7. スポーツ施設・空間マネジメントの強化
8. コーディネート機能の充実によるスポーツ合宿の誘致

④第 5 次沖縄県観光振興基本計画 改訂版

平成 29 年 3 月に改定された「第 5 次沖縄県観光振興基本計画」では、施策の基本方向の「(2) 多様で魅力ある観光体験の提供」に該当する施策の展開「1 多様で魅力ある観光体験の提供」において、以下の内容が示されています。

1 多様で魅力ある観光体験の提供

(3) 多様なツーリズムの展開

ア スポーツ・ツーリズムの展開

- ・スポーツコミッション沖縄を活用し、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会を誘致するなど、温暖な気候や既存のインフラを活かした、スポーツ・ツーリズムを推進する。
- ・大規模なスポーツコンベンションに対応できる全天候型多目的施設のほか、多様な種目や選手のニーズに対応する施設・設備等の整備を進める
- ・野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボールなどの地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめる観光を促進する。

また、圏域別の基本方向としては、「(5) 八重山圏域」における展開の基本方向として、石垣島トライアスロンなど島々の特性に応じた各種イベントの充実を促進し、独自の観光スタイルを創出すると示されています。

⑤石垣島のみちづくり基本計画

平成 28 年 3 月策定の「石垣島のみちづくり基本計画」において、石垣島における道路整備の基本方針の 1 つとして、以下の記載がなされています。

方針 1. 歴史・自然・計画等を活かした魅力ある“島のみちづくり”

(2)地域の活性化につながる賑わい空間を創出する道路

②様々な取組で活用できる道路空間の創出

様々なイベントでの活用や道路空間の整備及び運用を推進する。

・ 観光周遊自転車ネットワークの整備

・ アスリートや観客に配慮した道路整備

(3) 本市におけるスポーツ推進の関連計画

①第 4 次石垣市総合計画後期基本計画

平成 29 年 9 月に策定された「第 4 次石垣市総合計画後期基本計画」において、まちづくりの基本目標の 1 つに「豊かな風土の中で育つ『いしがき』～はぐくむ」が掲げられており、その実現に向けた基本方針と施策の方向として下記事項が掲げられています。

【分野別の基本方針と施策の方向】

■ひとりひとりの個性を育てる

スポーツの振興

【基本方針】

多様な展開によるスポーツ振興

地域との連携・協働

スポーツツーリズムの推進

【施策の方向】

1) 市民一人ひとりが輝くスポーツの推進

- ・ 身近で気軽にスポーツに親しむ環境の推進
- ・ 指導者の発掘及び養成・確保と有効活用
- ・ スポーツ情報の提供

2) たくましい心と体を育むスポーツの推進

- ・ 体力向上と健康づくりのための事業の充実

3) 市民に夢と希望を与える競技スポーツの推進

- ・ 県大会、全国大会で活躍できる選手の育成
- ・ 指導者の養成・確保
- ・ 競技者を育てる環境の整備

4) スポーツ施設の有効活用

- ・ 施設の有効活用の促進
- ・ 農業灌漑用のダムをスポーツ・観光に活用した新たな観光メニュー創出

5) スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業

・ プロ・アマスポーツキャンプ、合宿、大会等の誘致

- ・ 東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー要請、及び関連事業の誘致への取り組み

6) スポーツツーリズムの推進

- ・ スポーツツーリズムの推進を図る 石垣スポーツコミッション（仮称）の創設

また、他の分野別基本方針と施策においても、スポーツに関連する施策として以下の事項が掲げられ、実現に向けた取り組みが進められています。

【分野別の基本方針と施策の方向】

(1) 生きがい

- 誰もが明るく生き生きと暮らせる

高齢者支援・介護福祉

【施策の方向】

2) 健康で安心して暮らせるまちづくりの推進

- ・ 「いきいき百歳体操」などの集いの場への積極的な支援

障がい者（児）支援

【施策の方向】

2) とともに活動する社会の推進

- ・ 教育・保育、文化・ スポーツの推進

(2) 活力

- 地域特性を活かし魅力を高める

観光とリゾート

【施策の方向】

1) 新しい魅力づくりと発信

- ・ 体験滞在型観光の充実
- ・ 新たなツーリズム形態創造への取り組み

(3) はぐくむ

- 未来の担い手を育てる

学校教育の充実

【施策の方向】

7) 青少年の健全育成

- ・ スポーツ・文化活動等による交流・指導・相談の継続実施

(4) 交流

- グローバルな時代の交流型社会を創る

国内外交流

【施策の方向】

1) 国内外交流の基盤づくり

- ・ 文化・芸術・ スポーツなどを通じた幅広い交流の推進

③石垣市観光基本計画【改定版】

平成 28 年 3 月に策定された「石垣市観光基本計画【改定版】」において定められている
具体的施策において、それぞれ以下の内容が掲げられています。

【具体的施策】

12. スポーツウェルカム石垣島

(機能・役割)

プロ、アマスポーツの国際大会、キャンプ、合宿や実習などの誘致を推進する
スポーツウェルカム事業に取り組む。

24. ダムを活用した新たなスポーツ・観光事業の創出【地域創生総合戦略掲載】

(機能・役割)

農業灌漑用のダム湖をボートや、ウォータースポーツ、また、プロジェクショ
ンマッピング等の場として活用することにより、観光客にとって魅力的な新たな
観光メニューを創出する。

(取り組み・展開)

「海と湖いつでも水上スポーツができる石垣島」と位置づけ、大会・キャン
プ・合宿等を誘致するとともに、更にダム湖が有する水辺空間の魅力を発揮さ
せ、観光・交流地として新たなブランディングを確立する。

41. 石垣スポーツコミッション（仮称）の創設

(機能・役割)

石垣市体育協会を法人化するとともに、石垣スポーツコミッションへと移行し、
スポーツツーリズムによるまちづくり、地域づくりを推進する。

(取り組み・展開)

スポーツを重要産業ととらえ、民間のノウハウや活力を最大限に活かした専門
組織を創設することによって、スポーツを活用したまちづくりや地域づくりを推
進する。

49. サイクルロード・ウォーキングトレイルの整備

(機能・役割)

のんびり自然を満喫するサイクルロードやウォーキングの促進に寄与するア
イディア感のある整備を行う。

(取り組み・展開)

推奨マップづくりや楽しめる情報の提供を行い、休憩ポイントや景観ポイント
を整備する。

④石垣市歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画

平成 31 年 3 月に策定された「石垣市歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画」では、「石垣島のみちづくり基本計画（平成 28 年 3 月）」に定められている新規主要事業の整備を将来的に進めていく前段として、歩行者空間ネットワーク整備計画ならびに自転車空間ネットワーク整備計画の策定を行うことを目的としています。

特に自転車ネットワークに関しては、郊外部において観光周遊の視点に加え、スポーツイベントでの活用などの視点から計画を策定するとされています。

また、重点施策においては、以下の施策が掲げられています。

【重点施策】

1. アクセス道路及び一周道路を活用したサイクルツーリズムの展開

（概要）

- ・アクセス道路及び島内一周道路の走行空間の整備
- ・市街地部については、連続する路線を優先的に整備

2. 市役所跡地利用及び離島ターミナルと一体となった賑わい環境の創出

（概要）

- ・歩きやすい歩行空間の整備（車線縮小、歩道拡幅など舗装の工夫による整備）

⑤旧空港跡地利用計画

平成 29 年 2 月に策定された「旧空港跡地利用計画」では、求められる機能の 1 つである観光機能において、「コンベンション機能の充実」、「外国人観光客のニーズに応える環境整備」、「自然環境資源による癒し+医療サービス（ヘルスツーリズム等）」が掲げられています。

上記機能を導入するにあたっては、土地利用ゾーニング（案）における動線計画の考え方として、「幹線動線に歩道を設置することで当該地区と石垣中央運動公園やフルスト原遺跡等を結ぶ歩行者ネットワークを確保する」とされています。また、機能導入の考え方として以下の内容が掲げられています。

（2）機能導入の考え方

- ・県立八重山病院や市役所・消防本部等に近接して防災公園を配置するとともに、さらに医療福祉系機能を導入し、防災・医療福祉拠点を形成。
- ・広域避難場所である石垣市中央運動公園との連携強化のため、タナドー線から防災公園、国道 390 号を結ぶ防災幹線軸を配置。

2-3 本市のスポーツ環境の現状

(1) 市民のスポーツ活動の現状

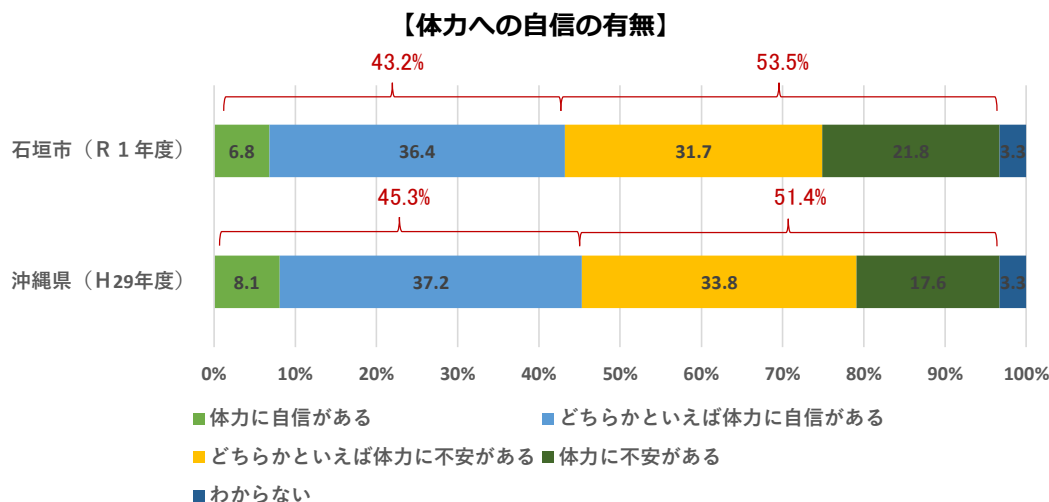
市民意識調査の結果から、市民のスポーツ活動に係る現状や課題を把握します。

<体力への自信・運動不足の認識>

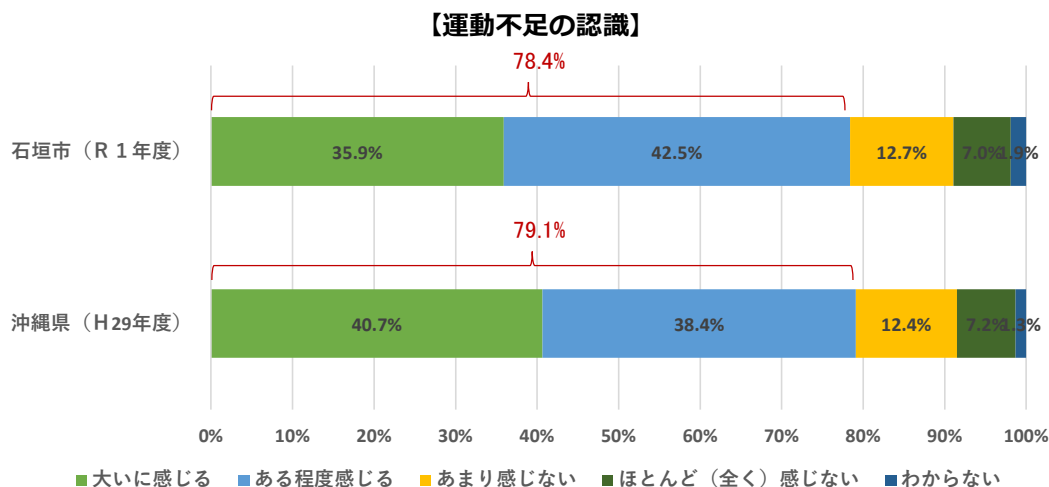
● 体力への不安や運動不足を感じている人の割合が高い

体力への自信の有無については、「自信がある」と「どちらかといえば自信がある」を合わせて 43.2%、また、「不安がある」と「どちらかといえば不安がある」を合わせて 53.5%となり、体力に不安がある人の割合が比較的に高くなっています。

県との比較では、体力に自信がある人の割合は、県の 45.3%に対して本市のほうが約 2%低くなっています。



運動不足の認識については、「大いに感じる」と「ある程度感じる」を合わせて 78.4%と多くの方が運動不足を自覚しており、県と同程度の傾向となっています。



資料：＜石垣市＞市民のスポーツに関する意識調査

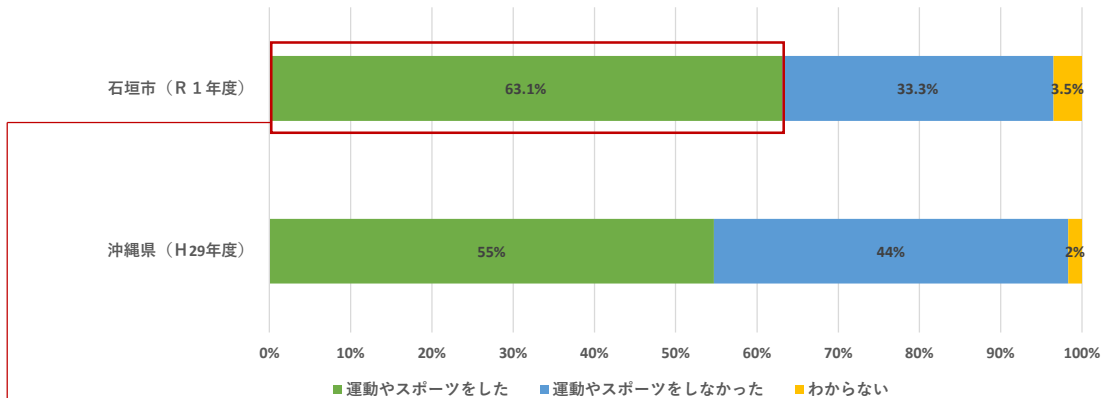
＜沖縄県＞平成 29 年度県民の体力・スポーツに関する意識調査

<スポーツ実施状況>

- 1年間に1日あたり30分以上のスポーツをした人の割合は63%
そのうち、週1回以上のスポーツをした人は約7割
- スポーツ実施率（実施していない人も含め、週1回以上実施した割合）は約45%

1年間に1日あたり30分以上の運動・スポーツを実施した割合は63.1%で、県と比較して約8%高くなっています。

【1年間におけるスポーツの実施状況】

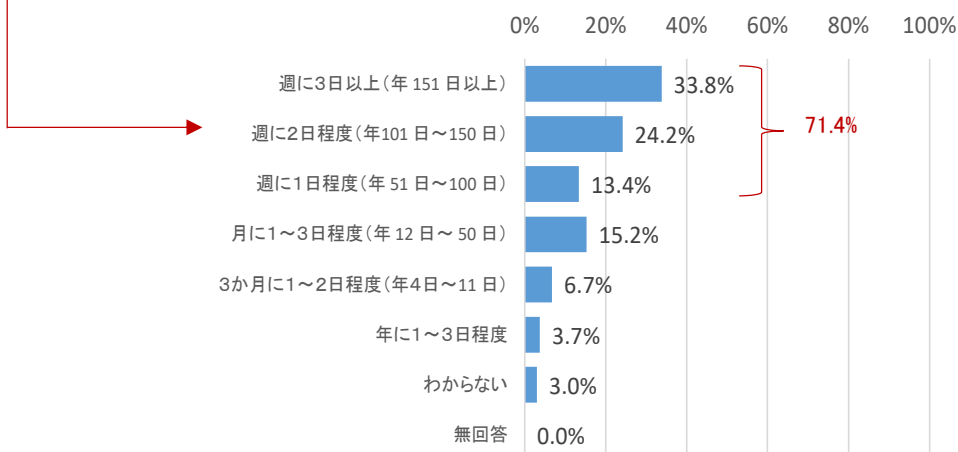


資料：＜石垣市＞市民のスポーツに関する意識調査

＜沖縄県＞平成29年度県民の体力・スポーツに関する意識調査

また、1年間に運動・スポーツを実施した人のうち、スポーツをする頻度について、週3日以上（33.8%）、週2日程度（24.2%）、週1日程度（13.4%）を合わせて約7割（71.4%）の方が、週1日以上スポーツを実施しています。

【スポーツをする頻度（1日あたり30分以上運動をした日数）】



資料：市民のスポーツに関する意識調査

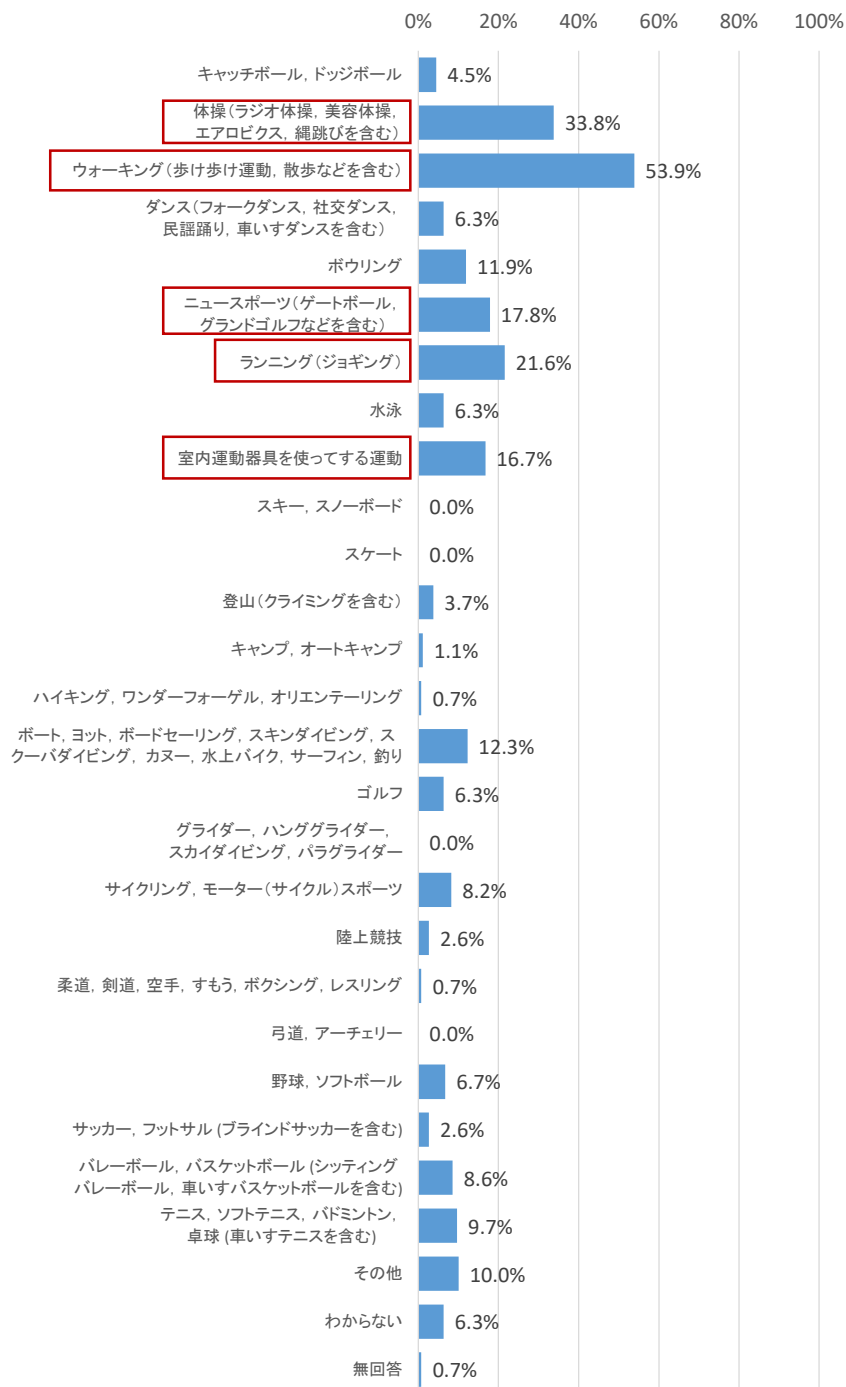
スポーツ実施率（週1日以上運動・スポーツを実施した割合で、運動・スポーツをしなかった人も含む）は約45%となり、県の37%と比較して8%高くなっています。

<実施した運動・スポーツの種目>

●ウォーキングや体操など負担の少ない運動・スポーツをする人が多い

実施した運動・スポーツについては、ウォーキングが53.9%と最も多く、次いで体操が33.8%、さらに、ランニング、ニュースポーツ（ゲートボール、グラウンドゴルフ等）、室内運動器具を使ってする運動の順となっています。

【1年間に実施した運動・スポーツの種目】



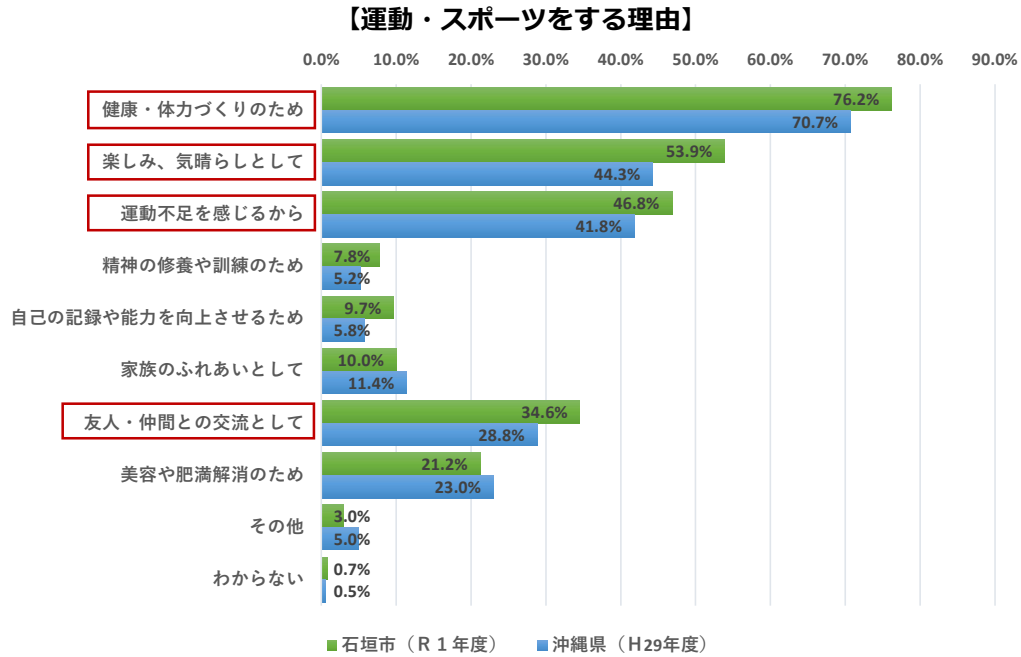
資料：市民のスポーツに関する意識調査

また、今後やってみたい運動・スポーツとしては、ダンス、室内運動器具を使ってする運動、水泳、ラケットを使ったスポーツ、などが比較的多く挙げられています。

<運動・スポーツをする理由>

●運動・スポーツをする理由は、体力づくり、楽しみ、運動不足、交流、が上位

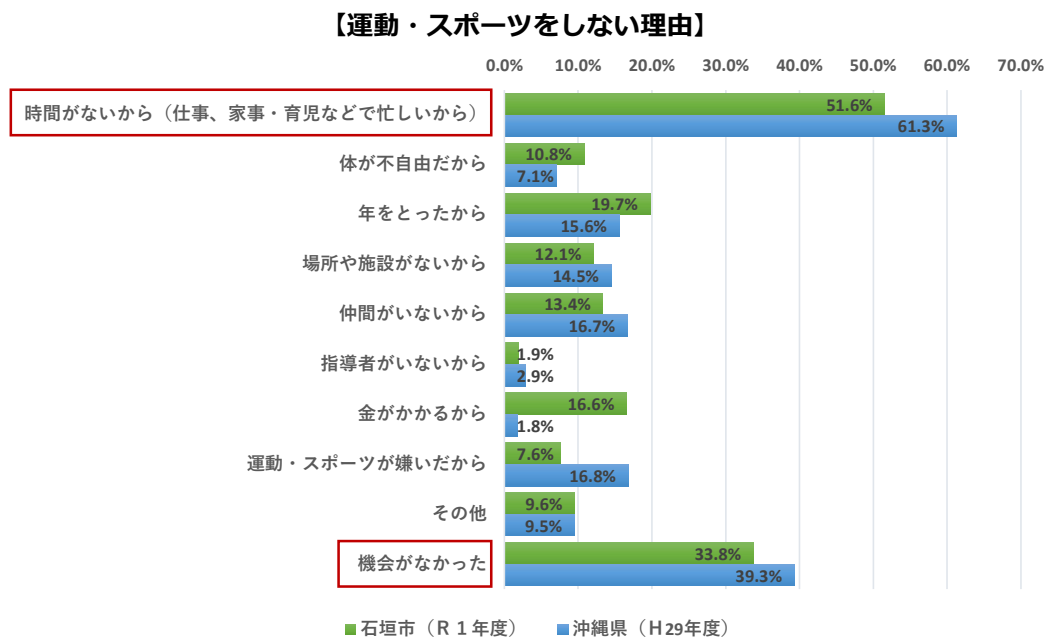
運動やスポーツをする理由は、「健康・体力づくり」が76.2%と最も多く、「楽しみ、気晴らし」が53.9%、「運動不足」が46.8%、「友人・仲間との交流」が34.6%となっています。県と比較して数値の差はありますが、傾向は概ね同様です。



<運動・スポーツをしない理由>

●運動・スポーツをしない理由は、時間がない、機会がない、が上位

運動・スポーツをしない理由については、「時間がない（仕事、家事・育児などで忙しい）」が51.6%と最も多く、次いで「機会がない」が33.8%となっています。



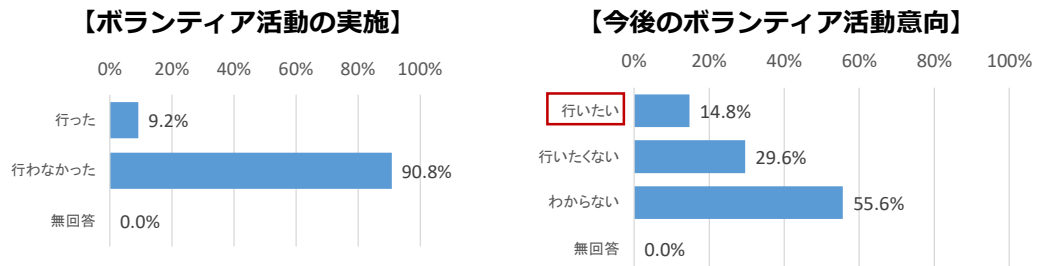
資料：＜石垣市＞市民のスポーツに関する意識調査

＜沖縄県＞平成29年度県民の体力・スポーツに関する意識調査

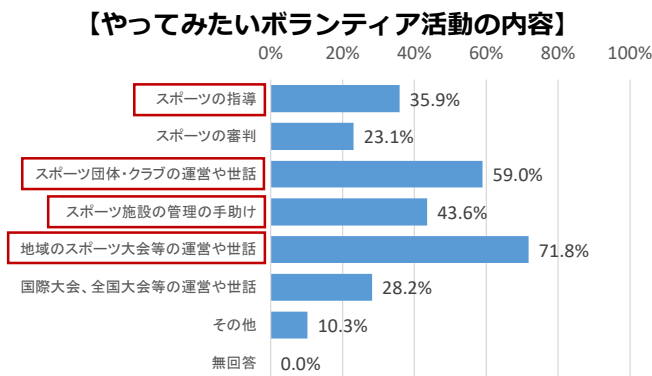
<スポーツボランティア活動>

●大会運営やスポーツ団体・クラブ運営など、ボランティアを希望する人が存在

ボランティア活動の実施状況については、「行わなかった」が大半を占めています。
今後のボランティア活動については、「行いたい」と回答した方が 14.8%います。



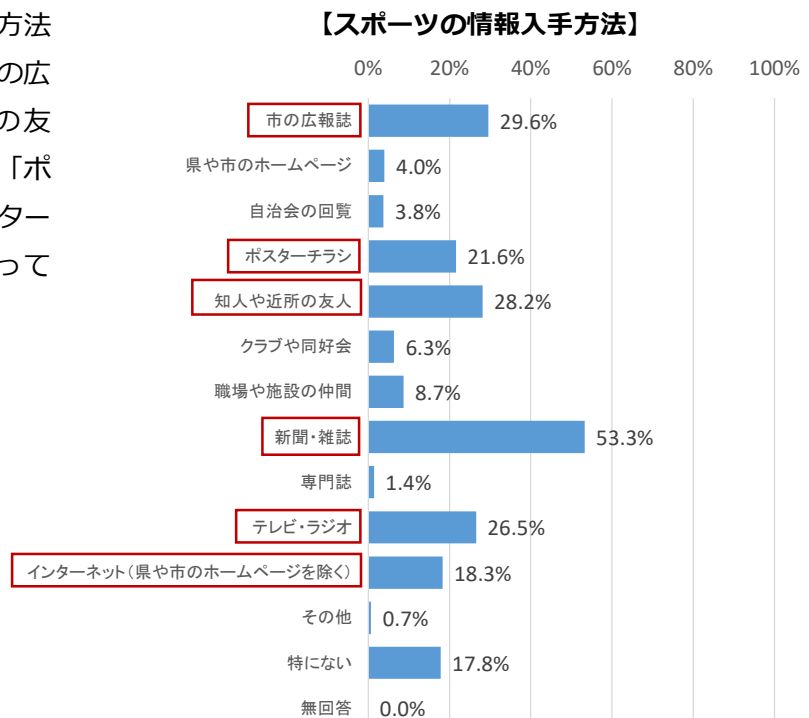
やってみたい活動は、「地域のスポーツ大会等の運営や世話」、「スポーツ団体・クラブの運営や世話」、「スポーツ施設の管理」、「スポーツの指導」の順となっています。



<スポーツの情報>

●スポーツに関する情報の入手は、様々な方法で行われている

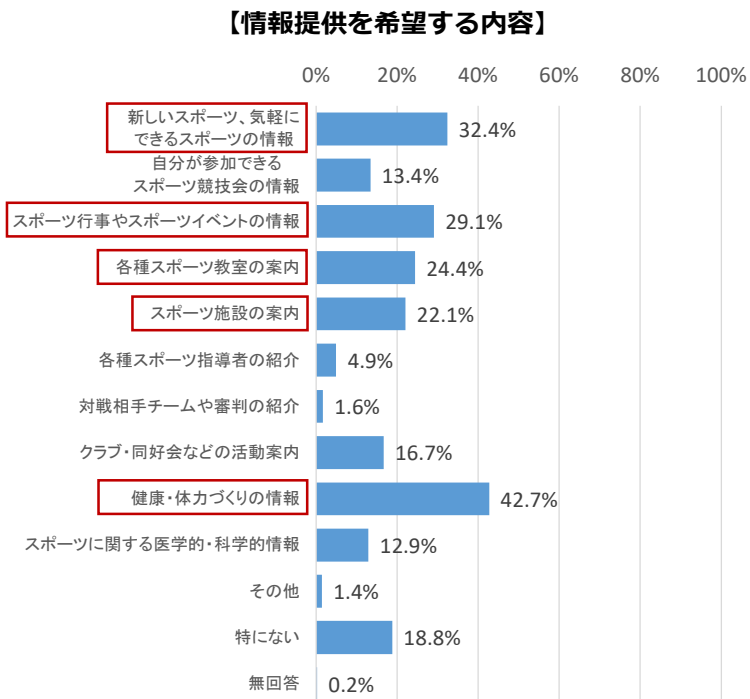
スポーツの情報入手方法は、「新聞・雑誌」、「市の広報誌」、「知人や近所の友人」、「テレビ・ラジオ」、「ポスター・チラシ」、「インターネット」の順に多くなっています。



資料：市民のスポーツに関する意識調査

●情報提供してほしい内容は、健康・体力づくり、新しいスポーツや気軽にできるスポーツ、行事やイベント、スポーツ教室、施設案内などが求められている

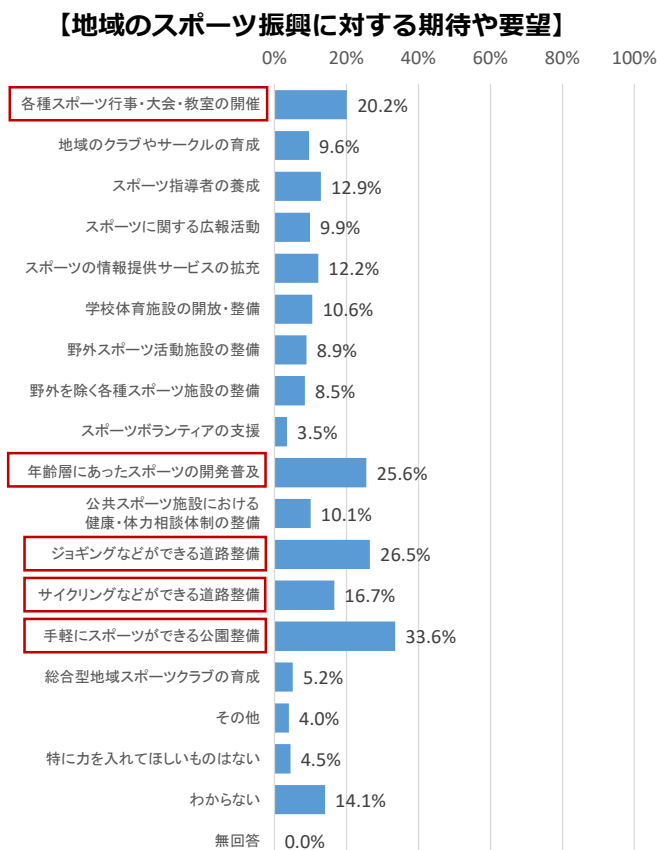
提供してほしい情報として、「健康・体力づくり」、「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツ」、「スポーツ行事やイベント」、「各種スポーツ教室」、「スポーツ施設の案内」が多くなっています。



＜地域のスポーツ振興に対する期待や要望＞

●スポーツができる公園やジョギングなどができる道路の整備、年齢層にあったスポーツの普及、行事・大会・教室の充実などが期待されている

地域のスポーツ振興に対する期待や要望については、「手軽にスポーツができる公園整備」が最も多く、次いで「ジョギングなどができる道路整備」「年齢層にあったスポーツの開発普及」「各種スポーツ行事、大会・教室の開催」「サイクリングなどができる道路整備」の順に多くなっています。



資料：市民のスポーツに関する意識調査

(2) スポーツ関係団体等の現状

本市では、八重山郡体育協会及び（一社）石垣市体育協会、それぞれに加盟している各競技団体をはじめ、総合型地域スポーツクラブ、などが活動しています。

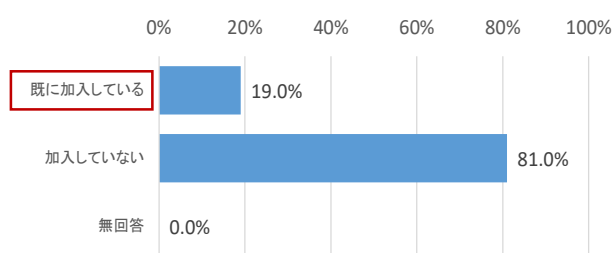
団体名	取組概要
八重山郡体育協会	スポーツを振興して、八重山郡民の体力の向上とスポーツ精神を養うことを目的としており、目標の達成のため八重山郡民大会を開催し、競技力の向上を図ること等の事業を行います。 【加盟団体】陸上競技協会・サッカー協会・テニス協会・バレーボール協会・体操協会・バスケットボール協会・ハンドボール協会・自転車競技連盟・ソフトテニス連盟・卓球協会・野球連盟・相撲連盟・柔道連盟・ソフトボール協会・バドミントン協会・弓道連盟・ライフル射撃協会・剣道連盟・アーチェリー協会・空手道連盟・ゲートボール連合・ゴルフ協会・トライアスロン連合・グラウンドゴルフ協会
一般社団法人 石垣市体育協会	石垣市におけるスポーツ・レクリエーション振興に関する事業を行い、市民の体力向上とスポーツ精神の涵養を図ると共に、市民憲章に掲げる「教育の町」「健康の町」づくりに寄与することを目的に活動しています。毎月1日の午前6時30分には、石垣市中央運動公園陸上競技場（雨天時は屋内練習場）にて「石垣市ラジオ体操会」を開催しています。 【加盟団体】石垣市グラウンド・ゴルフ協会・石垣市ソフトボール協会・石垣市ゲートボール協会・石垣市トライアスロン協会・石垣市バスケットボール協会・石垣市テニポン協会・石垣市レクリエーション協会・ソフトテニス美香月・石垣市フォークダンスクラブ・沖縄伴走ランナーネットワーク八重山支部・総合型スポーツクラブ・石垣市民踊愛好会・石垣市卓球教室・スカイラブテニスクラブ・総合型スポーツクラブ歩きニスト
総合型スポーツクラブ・歩きニスト	ウォーキングを中心に誰でも参加出来る、スポーツを楽しむ美しく健康でを目指している総合型地域スポーツクラブで、公園・遺跡等を周りながらのママチャリサイクリングや、ベタンク大会なども行っています。
一般社団法人 石垣島アスリートクラブ	運動の楽しさを学ぶことを目的として、陸上競技に特化するのではなく、野球・サッカー・バスケットボール等様々なスポーツに生かせる力を身につけられるように活動しています。
スポーツ少年団	小学生を中心に、各地域等で様々な種目のチームを構成し、競技スポーツに取り組んでいます。
石垣市スポーツ推進委員	いつまでも運動やスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの普及・推進を図るため、市民を対象に様々な運動・スポーツ事業の企画運営を行っています。

<スポーツクラブ等への参加状況>

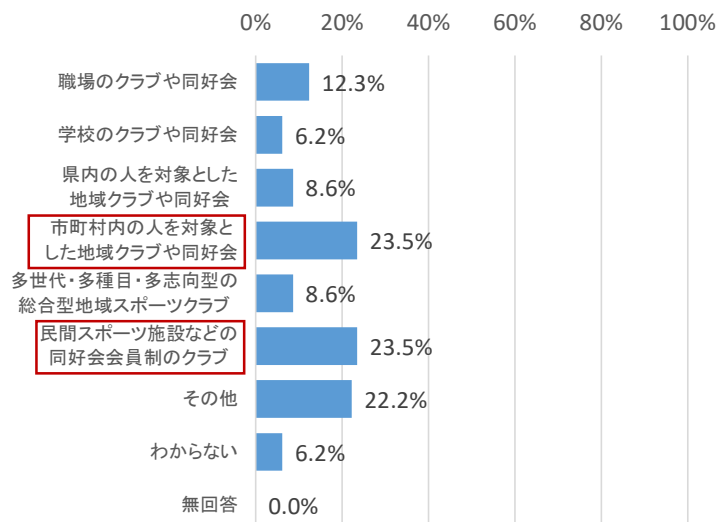
- 参加する目的は、健康・体力づくりの他、仲間づくり、継続できる、好きなスポーツができる、などが上位

スポーツクラブに入会している割合は 19.0%となっており、そのうち「地域クラブや同好会」と「民間スポーツ施設」が 23.5%と最も多くなっています。

【スポーツクラブ等への入会状況】

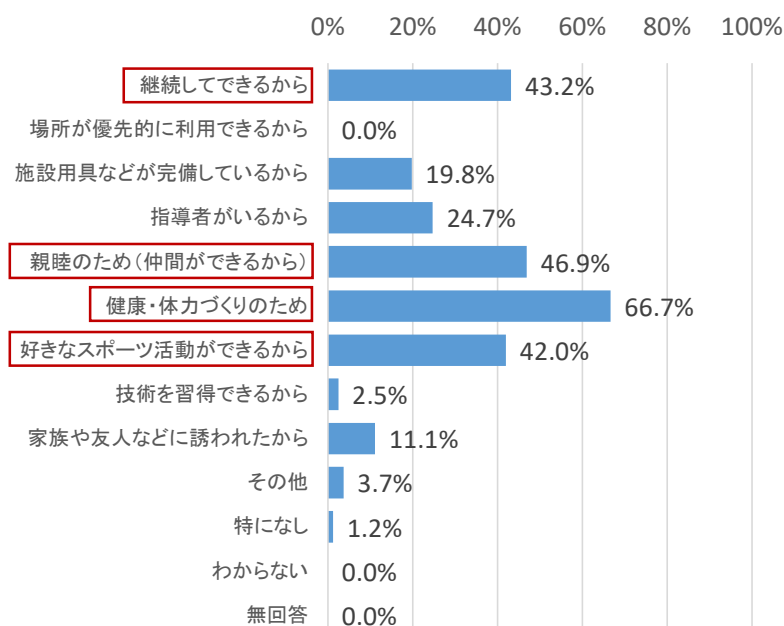


【入会しているクラブ等の種類】



スポーツクラブに入会した動機や目的については、「健康・体力づくり」が 66.7%と最も多く、次いで「親睦のため(仲間ができる)」が 46.9%、「継続してできる」が 43.2%、「好きなスポーツ活動ができる」が 42.0%の順となっています。

【スポーツクラブ等に入会した動機や目的】



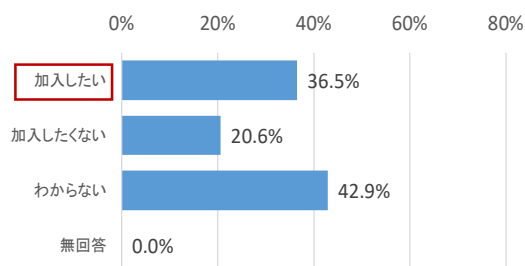
資料：市民のスポーツに関する意識調査

●多世代・多種目のスポーツクラブへの加入を望む人の割合が高い

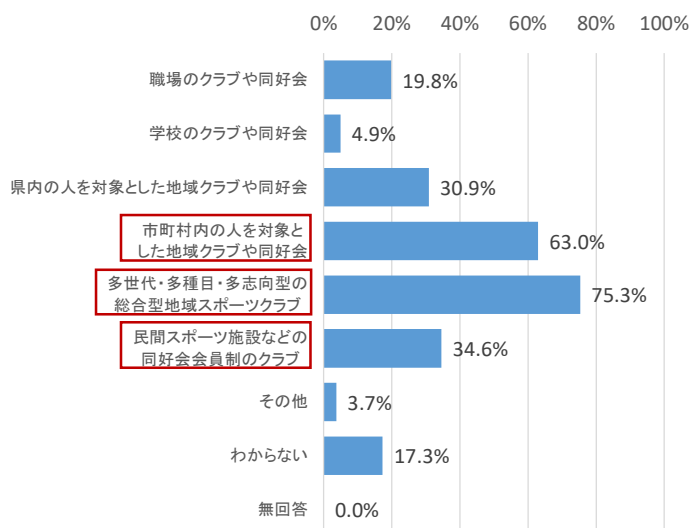
スポーツクラブへの加入意向については、「加入したい」が36.5%となっています。

そのうち、加入したいクラブの内容では、「多世代・多種目・多志向型の総合型地域スポーツクラブ」が75.3%と最も多く、次いで「地域クラブや同好会」が63.0%、「民間スポーツ施設などの会員制クラブ」が34.6%の順となっています。

【スポーツクラブ等への加入意向】



【加入したいクラブ等の種類】

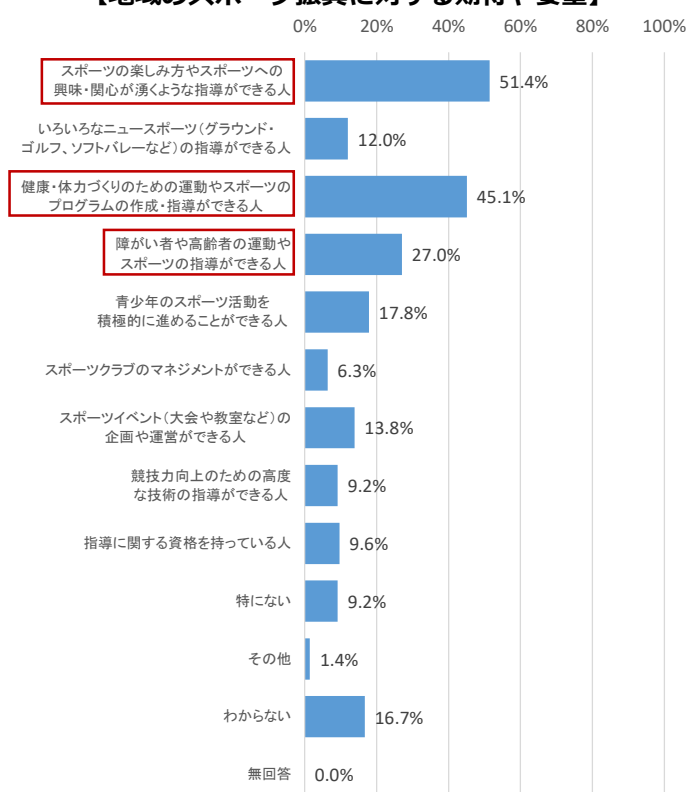


<指導者に対する期待や要望>

●指導者として、興味・関心が湧くような指導、健康・体力づくりに関する指導、障がい者や高齢者への指導ができる人、などが期待されている

指導者に対する希望や要望については、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心が湧くような指導ができる人」が51.4%と最も多く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツのプログラムの作成・指導ができる人」が45.1%、「障がい者や高齢者の運動やスポーツの指導ができる人」が27.0%の順となっています。

【地域のスポーツ振興に対する期待や要望】



資料：市民のスポーツに関する意識調査

<スポーツ関係団体等の取組に係る課題>

本市のスポーツ関係団体等に関するアンケート調査結果などから、組織運営や競技力向上等について、以下の課題が挙げられています。

●組織運営

【予算・人員】…活動予算の不足／収入源の確保／会議参加者が少ない／指導者の不足
／新規加入者が増えない／会員の高齢化／人員不足／障がい者の伴
走ができる晴眼者の不足 等

【施設関係】…活動施設の確保／イベント時等における施設利用競合の調整 等

●競技力向上

【指導体制】…指導者の育成・確保／一貫した指導システム／アスリートによる指導

【対戦機会等の充実】…地元での大会開催／トップレベルのスポーツを見る機会

●今後の推進体制…市・体育協会の体制強化／スポーツ団体間の連携／八重山郡体育協会
と石垣市体育協会の統一化 等

(3) スポーツ施設等の現状

<石垣市中央運動公園>

プロ球団のスタジアムと同等規模の野球場など本格的な運動施設が充実しています。千葉ロッテマリーンズの春季キャンプや大学・高校野球の合宿、陸上のトレーニング等にも利用されています。

【公園内施設】

①石垣市中央運動公園野球場

▶施設概要:硬式・軟式可、両翼 99.5m、中堅 122m、天然芝、衝撃吸収マット(52mm)フェンス、約 8,000 人収容▶その他設備:ブルペン、更衣室、会議室、AED▶バリアフリー:P、WC

②石垣市中央運動公園第二野球場

▶施設概要:硬式・軟式可、両翼 95m、中堅 120m、天然芝、衝撃吸収マットフェンス、約 1,200 人収容▶その他設備:簡易ブルペン、ナイター設備▶バリアフリー:P、WC

③石垣市中央運動公園陸上競技場

▶施設概要:400mトラック8レーン、全天候型トラック、天然芝フィールド、約 13,700 人収容※第3種公認※サッカー・ラグビー使用可▶その他設備:ナイター設備、更衣室、シャワー室、会議室、AED▶バリアフリー:P

④石垣市中央運動公園庭球場

▶施設概要:全天候型コート9面、約50人収容▶その他設備:ナイター設備

⑤石垣市中央運動公園屋内練習場

▶施設概要:面積 4,756 m²▶施設用途・規模:軟式野球1面、ソフトボール1面、テニス4面、ゲートボール2面▶その他設備:トレーニングルーム、AED▶バリアフリー:WC

⑥石垣市中央運動公園総合体育館

▶施設概要:約 960 人収容▶施設用途・規模:〔メインアリーナ〕バレーボール3面、ハンドボール2面、バスケットボール2面、バトミントン8面、卓球10台、ドッジボール4面〔サブアリーナ〕バレーボール3面、ハンドボール1面、バスケットボール1面、バトミントン4面、卓球8台、ドッジボール2面※武道場有り(空手2面、柔道2面、剣道2面)▶その他設備:冷房設備、トレーニングルーム、更衣室、シ



ヤワー室、会議室、AED▶バリアフリー：P、WC

⑦石垣市中央運動公園水泳プール

▶施設概要：屋外 50m×8 レーン▶その他設備：更衣室、シャワー室

⑧石垣市中央運動公園多目的広場

▶施設概要：面積 4,900 m²▶施設用途・規模：軟式野球 1 面、ソフトボール 1 面

⑨石垣市中央運動公園相撲場

<サッカーパークあかんま>

国内外のトップチームから青少年のサッカースクールまでサッカースポーツを核としつつ、地域住民による健康スポーツ文化活動拠点として、多くの人々に利用され親しまれています。



⑩サッカーパークあかんま

▶施設概要：コート 3 面、グラウンド面積 28,640 m²、天然芝、約 3,000 人収容※サブグラウンド有り(コート 2 面、グラウンド面積 18,420 m²、天然芝)▶その他設備：トレーニングルーム、更衣室、シャワー室、会議室、AED▶バリアフリー：P、WC▶フットサルアリーナ：面積 1,360 m²、フットサル 1 面

<スポーツに利用される公園施設等>

⑪バナナ公園

▶施設概要：面積 2,921,000 m²▶利用種目：BMX サイクル広場、ローラースケート場



⑫宮良川

▶施設概要：島内で最大の河川であり、県内最高峰の於茂登岳の北東の中腹を源流とし、上流で支流の石橋川（イシバシカーラ、イシパチカーラ）、底原川と合流します。下流部の流れは緩やかであり、オヒルギなどのマングローブ湿地が発達して、「宮良川のヒルギ林」として 1972 年に国の天然記念物に指定されています。

▶利用種目：カヌー、SUP など



⑭名蔵アンパル

▶施設概要：八重山列島を構成する石垣島西部、名蔵湾奥の名蔵川河口周辺の砂州で囲まれた干潟およびマングローブ林、原野を中心とした地域です。このマングローブ林は環境省の特定植物群落である「名蔵川河口域のマングローブ林」に指定されています。

▶利用種目：カヤックなど



⑬真栄里公園

▶施設概要：面積：29,000 m² 完成：平成 3 年

▶スポーツ施設：テニスコート・ストリートバスケットコート



⑬新川公園

▶施設概要：面積：18,000 m² 完成：平成 3 年

▶スポーツ施設：野球場



⑬舟蔵公園

▶施設概要：面積：27,737 m²、完成：昭和 52 年、石垣島ライド（サイクリングイベント）大会のスタート、ゴール地点となっている。



⑬南ぬ浜町ビーチ

▶施設概要：サザンゲートブリッジを渡った先の埋立地にある「南ぬ浜町緑地公園」公園駐車場の隣にあり 2016 年度から暫定供用を開始した人工ビーチになります。石垣島トライアスロン大会のスタート地点としても活用されています。

▶利用種目：トライアスロン、ビーチアルティメット、ビーチバレー、ビーチサッカーなど



⑭底地ビーチ

▶施設概要：大きく弧を描いた白い砂浜が約 1km にわたって続き、遠浅で穏やかなロングビーチとなっています。

▶利用種目：マリンスポーツ

⑮島一周コース

▶施設概要：比較的広い幅員の国道 390 号と県道 79 号線を結んだ約 100 キロのコースで、一部は GREAT EARTH 石垣島ライドのコースとなっています。

▶利用種目：サイクリング

⑯明石パラワールド

▶施設概要：平久保半島南部にパラグライダーのテイクオフ場があり、安定した上昇気流が得られることから、スカイスポーツの絶好のポイントとなっています。眼下に広がる山並み、牧野、サンゴ礁の雄大な風景を体感しながら空中散歩を楽しめます。

▶利用種目：パラグライダー

＜スポーツに利用できる可能性のある場所＞

規模や環境などの特性を活かして、今後スポーツの場として可能性のある場所を例示します。

⑰新栄公園

▶施設概要：面積：21,000 m²、完成：昭和 52 年

▶利用可能性：

公園の広さを活用したウォーキング、球技など



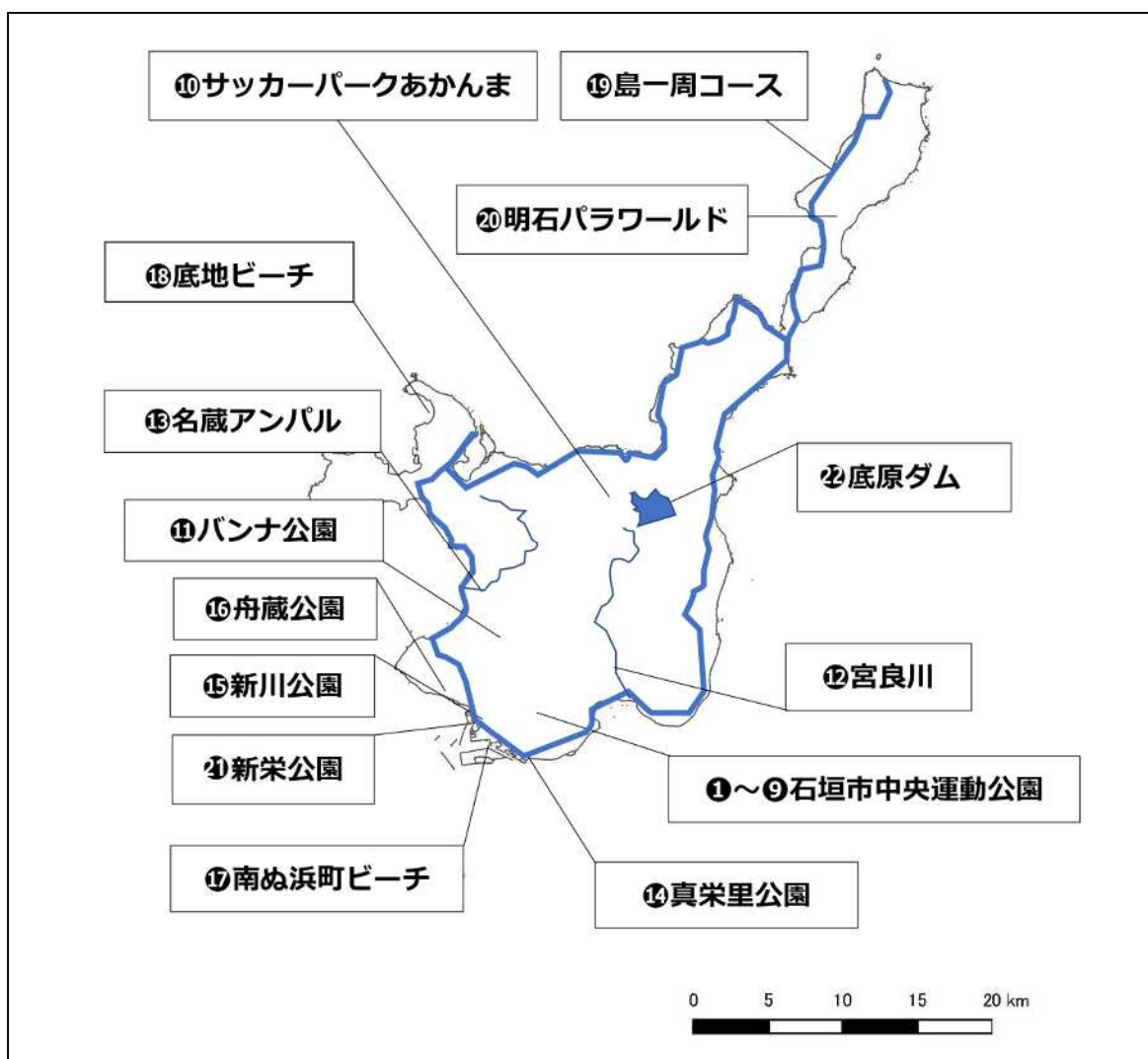
②底原ダム

▶施設概要：貯水池：満水面積：1.38k 平方メートル、総貯水量：13,000 千立方メートル、常時満水位：EL39.50m、計画洪水量：EL41.30m ▶利用可能性：カヌー、カヤック、ウインドサーフィン、ボート、ハーリー

堤体：堤高：29.5m、堤頂長：1,331m、堤頂幅：8.0m、総築堤量：3,228 千立方メートル、▶利用可能性：長い直線を活かした、自転車レース、スケートボード、ブレイブボードなど



【各スポーツ施設等の位置図】



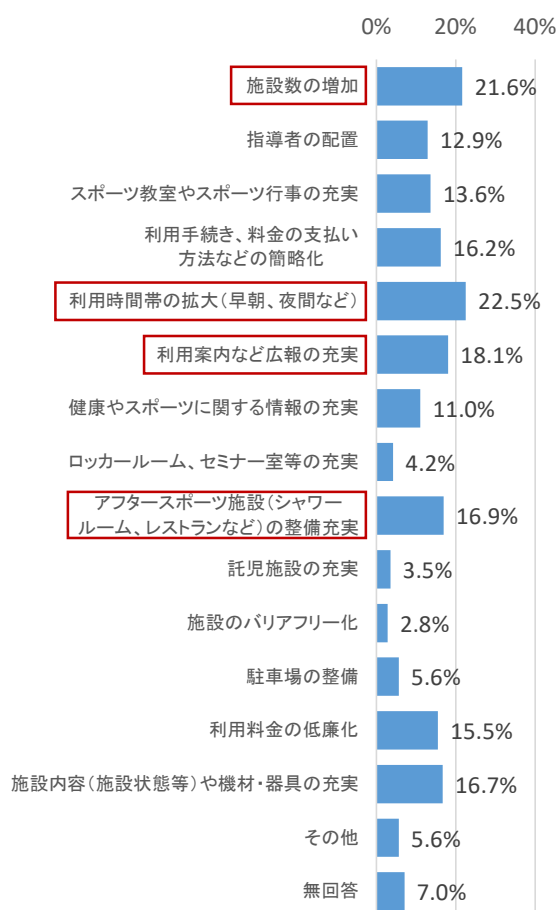
<スポーツ施設に対する期待や要望>

- 利用時間枠の拡大（早朝、夜間）、施設数の増加などが期待されている
- 今後充実を望む施設として、屋内プール、多目的運動広場、トレーニング場、などが上位

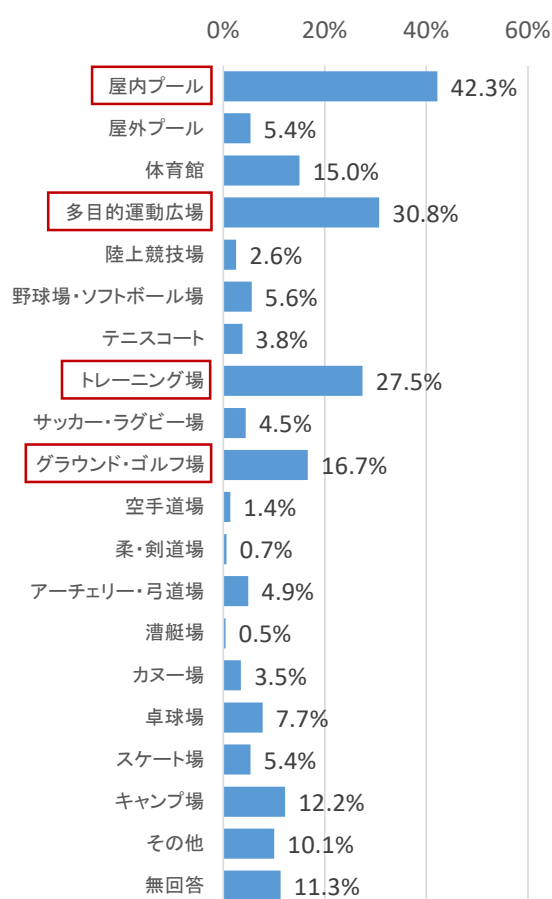
既存のスポーツ施設に対する期待では、「利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）」が22.5%と最も多く、次いで「施設数の増加」「利用案内など広報の充実」「アフタースポーツ施設（シャワールーム、レストランなど）」の順となっています。

また、充実してほしい施設として、「屋内プール」が42.3%と最も多く、次いで「多目的運動広場」「トレーニング場」「グラウンド・ゴルフ場」の順となっています。

【既存の施設に対する期待】



【充実してほしい施設】



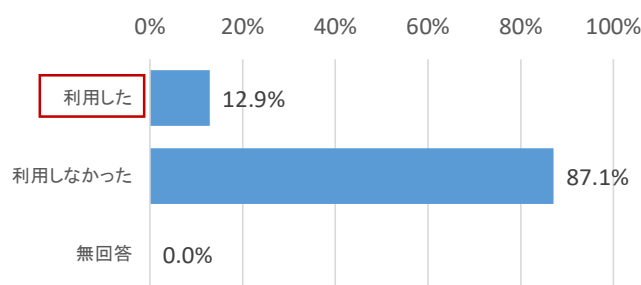
資料：市民のスポーツに関する意識調査

<学校施設のスポーツ利用状況>

- 学校施設は、施設・設備の充実度が評価されている一方で、利用できる事が知られていない、利用したい時に利用できない、などが課題

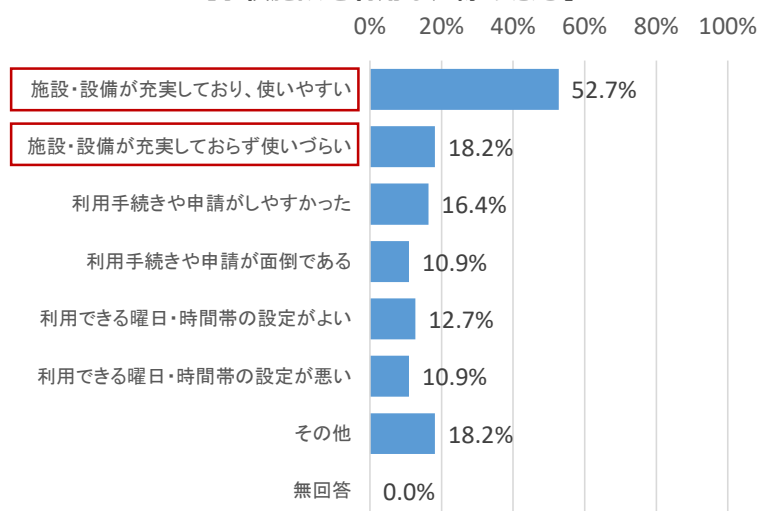
学校施設をスポーツの目的に利用している割合は、12.9%となっています。

【学校施設の利用経験】



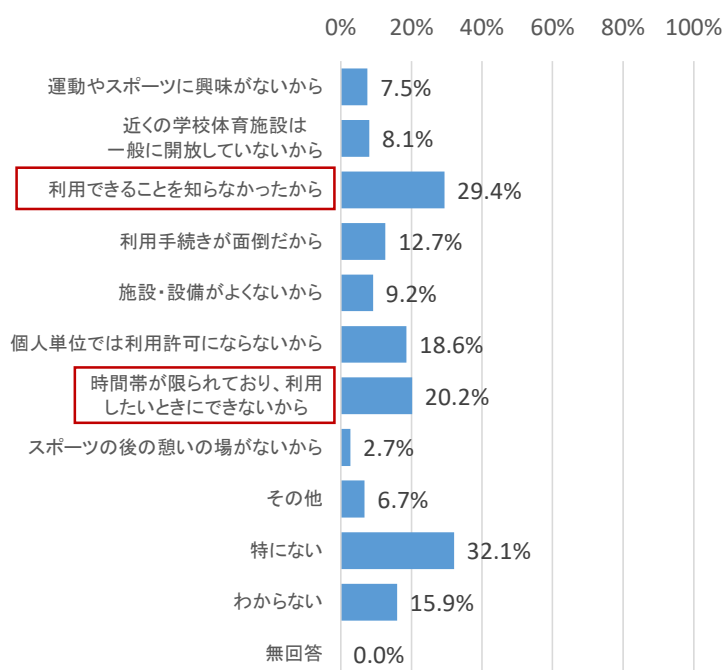
学校施設を利用した際の感想については、「施設・設備が充実しており、使いやすい」が52.7%で、「使いづらい」の18.2%を大きく上回っています。

【学校施設を利用した際の感想】



一方、学校施設を利用しない理由については、「利用できることを知らなかった」が29.4%と最も多く、次いで「時間帯が限られており、利用したいときにできない」なっています。

【学校施設を利用しない理由】



資料：市民のスポーツに関する意識調査

(4) スポーツイベント及びスポーツツーリズムの現状

①スポーツイベント等について

石垣市で開催されている主な大会やイベントには、以下のようなものがあります。

時期	大会	イベント
1月	・石垣島マラソン ・市長杯各種スポーツ大会 ・千葉ロッテ杯大嶺祐太旗学童軟式野球大会	
2月	・石垣島オーシャンビュー トレイルラン&ウォーク	
3月	・全日本ビーチアルティメット選手権大会 ・スポーツ少年団マラソン大会	
4月	・石垣島トライアスロン大会 ・石垣島 SUP グランプリ	
5月	・石垣島ウルトラマラソン ・スポーツ少年団各種スポーツ大会	・チャレンジデー※ ¹
8月	・Jr トライアスロン大会 ・八重山地区障がい者スポーツ大会	
9月	・石垣市水泳選手権大会	
10月	・GREAT EARTH 石垣島ライド ・美ら島アルティメットフェスタ ・オープンウォータースイミング	・石垣市スポーツレクリエーション祭 ・市民サッカーまつり
12月	・八重山毎日駅伝 ・リレーマラソン	

※¹チャレンジデーとは、同じ規模の自治体同士が午前 0 時～午後 9 時までの間に 15 分以上継続して何らかの運動を行った参加率（％）を競うイベントです。

市では、1日ですでにどれだけ多くの人々が運動をしたかを他都市と対戦型で競う「チャレンジデー」や、子どもから大人まで幅広い世代がサッカーを楽しむ「市民サッカーまつり」など、市民が気軽にスポーツに親しめる機会づくりに取り組んでいます。



【チャレンジデー（パンフレット）】



【市民サッカーまつり】

また、大規模なスポーツイベントとして、「石垣島マラソン」、「石垣島トライアスロン」、「GREAT EARTH 石垣島ライド」をはじめ、ランニング、自転車、スイム、サップ、ビーチアルティメット等、美しい自然を体感できる様々な大会・イベントが開催され、全国から多くの参加者を集めています。

さらに、観光客がマリンスポーツやサイクリング等を楽しむスタイルも見られ、スポーツツーリズムの動きが既に進みつつあります。



【石垣島マラソン】



【GREAT EARTH 石垣島ライド】



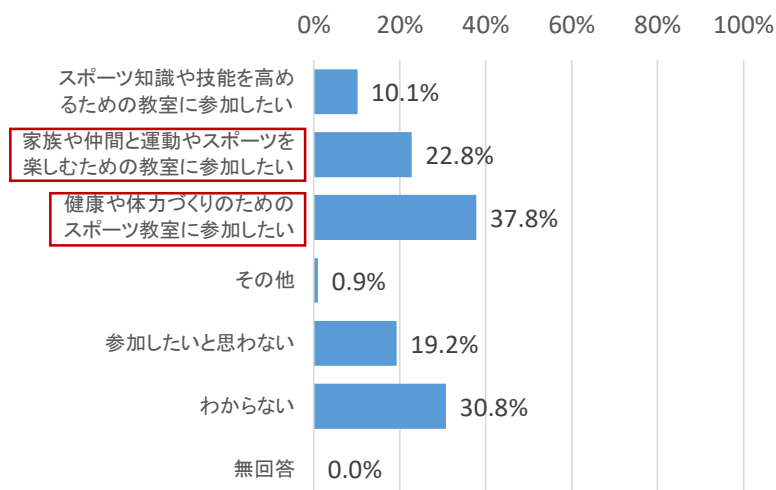
【石垣島 SUP グランプリ】

＜スポーツイベント等に関する市民意向＞

● 参加したいスポーツ教室は、健康や体力づくり、楽しむため、など目的は様々である

参加したいスポーツ教室については、「健康や体力づくりのためのスポーツ教室」が 37.8%と最も多く、次いで「家族や仲間と運動やスポーツを楽しむための教室」が 22.8%と多くなっています。

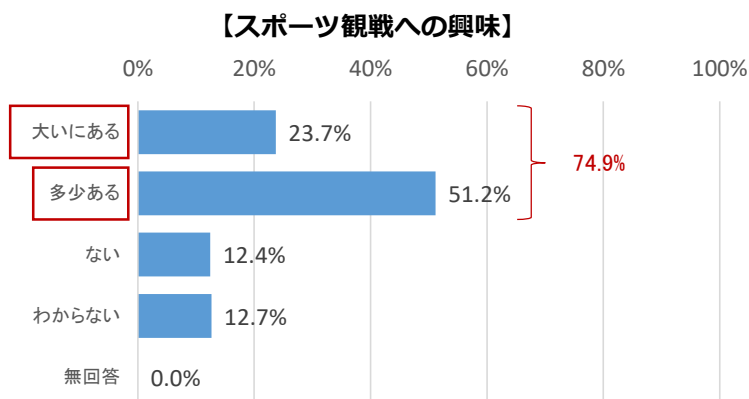
【スポーツ教室への参加意向】



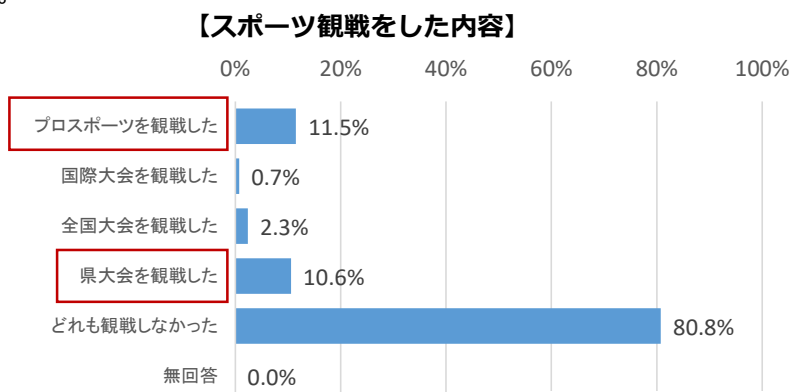
資料：市民のスポーツに関する意識調査

●スポーツ観戦に興味のある人の割合が高い

スポーツ観戦への興味については、「大いにある」(23.7%)と「多少ある」(51.2%)を合わせて、74.9%と高い割合となっています。



スポーツ観戦をした人では、「プロスポーツ」「県大会」を観戦した割合が比較的に高くなっています。



資料：市民のスポーツに関する意識調査

②スポーツツーリズムについて

<本市のスポーツキャンプ実績>

冬季・春季は温暖な気候で花粉が少なく、また、スポーツ施設が充実していることから、本市でキャンプ等が数多く実施されています。競技種目は以下のとおりで、野球、陸上、サッカーの順に多くなっており、様々なチームやアスリートがトレーニングを実施しています。

特に千葉ロッテマリーンズ（プロ野球）、横浜Ｆ・マリノス（サッカーＪリーグ）等のプロチームにも利用されており、市民・観光客も多く訪れています。



【横浜Ｆ・マリノス】



【千葉ロッテマリーンズ】

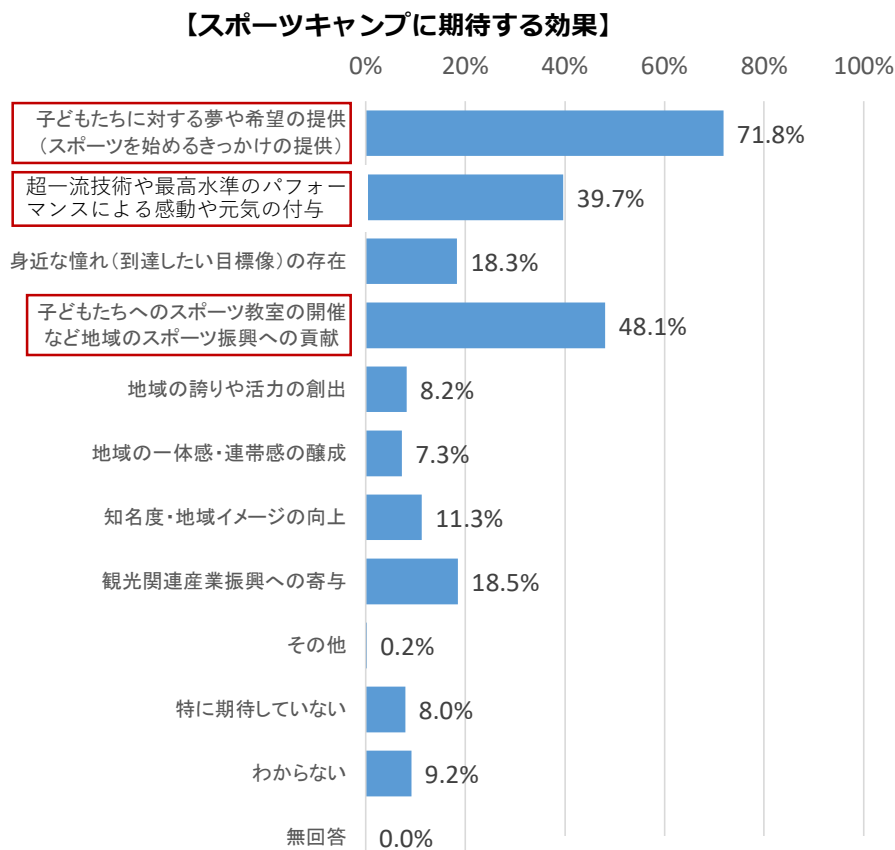
本市のスポーツキャンプが実施された競技種目（平成 9～30 年までの実施を集計）

・野球・・・95回	・陸上・・・73回	・サッカー・・・38回
・アーチェリー・10回	・自転車・・・3回	・ラグビー・・・2回
・バスケット・・・2回	・水泳・・・1回	
・柔道・・・1回		

<スポーツキャンプに期待する効果>

●子どもたちへの夢や希望、スポーツ振興への貢献などの効果が期待されている

「子どもたちに対する夢や希望の提供」が71.8%と最も多く、次いで「子どもたちへのスポーツ教室の開催など地域のスポーツ振興への貢献」、「超一流技術や最高水準のパフォーマンスによる感動や元気の付与」の順に多くなっています。



資料：市民のスポーツに関する意識調査

<スポーツキャンプ地に求められる要素>

本市においてキャンプ実施経験のあるチームに対するアンケート調査結果から、キャンプ地として多く競技種目に共通する要素として、主に以下の内容が挙げられています。

- スポーツ施設…競技施設のコンディションの維持（芝生・グラウンド環境）
／基礎トレーニング施設／プール 等
- 対戦・練習相手…同等レベルのチームとの練習試合の調整 等
- 食事…メニューの要望に対する柔軟な対応／ビュッフェ形式 等
- 宿泊…同チームによるワンフロアの貸し切り／ランドリー設備／温泉
- 医療…緊急時の対応に備えた連携体制
- 交通…空港・宿泊施設・競技施設・トレーニング施設等とのアクセス
- 費用…旅費・宿泊費の支援（特に高校）

2-4 本市のスポーツ推進に関する課題の整理

本市のスポーツ推進に向けた施策を立案する上での前提条件として、国・県・市の関連計画に見られる施策の方向性及び本市のスポーツ推進に関する主な課題を整理します。

(1) 関連計画等における施策の方向性

先ず、これまで本市のスポーツ施策の基礎としていた「石垣市スポーツ振興基本計画」(平成17年3月策定)では、以下の4つを主要施策に掲げ、全ての市民が「する」「みる」「ささえる」スポーツに関わることで「市民皆スポーツの実現」を目指して取組が進められてきました。

【石垣市スポーツ振興基本計画の4つの主要施策】

- 市民ひとりひとりが輝くスポーツの推進
- 市民に夢と希望を与える競技スポーツの推進
- たくましい心と体を育む学校体育・スポーツの推進
- スポーツ施設の有効活用

また、最近の国・県・市の関連計画では、国のスポーツ基本法の制定等によるスポーツの捉え方の大きな変化を踏まえて、スポーツによる波及効果を高めるため、観光との連携、地域資源の活用やスポーツキャンプ誘致などにより、地域活性化を目指す新たな方向性が示されています。

【国・県・市の関連計画に示されている新たな方向性】

- ＜国＞ ●スポーツ参画人口の拡大
- スポーツツーリズムの推進 等
- ＜県＞ ●地域活性化、スポーツ関連産業の振興
- 地域のスポーツ資源の活用 等
- ＜本市＞ ●スポーツキャンプ・大会等の誘致
- スポーツコミッションの設立
- 地域特性を活かした取組（サイクルツーリズム、トレイルウォーク） 等

(2) 本市のスポーツ推進に関する主な課題

各種意向調査の結果を踏まえて、市民のスポーツ活動、スポーツ関係団体の取組、スポーツ施設、そして、スポーツイベント・キャンプに関して、以下のような課題があります。

【市民のスポーツ活動に関する課題】

- 体力不安や運動不足を感じる人が多く、また、運動・スポーツをしないのは時間・機会が無いことが理由となっているため、気軽に運動・スポーツをできる機会や、日常生活の中で取り組める機会をつくる必要があります。
- ボランティア活動をしたい人に対して、参加できる機会や情報提供が求められています。
- 健康・体力づくりや気軽にできるスポーツの情報、イベントや教室などの情報提供が望まれています。
- スポーツができる公園やジョギングなどができる道路の整備、年齢層にあったスポーツの普及や、行事・大会・教室の充実などが望まれています。
- 障がい者については、スポーツをする機会の提供をはじめ、施設におけるバリアフリー化や指導者の配置により、スポーツしやすい環境が望まれています。

【スポーツ関係団体の取組に関する課題】

- 様々な年代の方が参加でき、多種目のスポーツができるクラブ等のニーズが高いことから、様々なスポーツの種目・プログラムがあり、世代間の交流を図る場をつくることが求められています。
- 指導者については、興味・関心が湧くような指導、健康・体力づくりに関する指導、そして、障がい者や高齢者への指導ができることが望まれています。
- スポーツ関係団体の組織運営においては、活動費等の支援、職員や指導者等の人材の充実を図るとともに、新規の参加や世代交代などによる活性化を図ることが必要となっています。

(活動予算の不足／収入源の確保／会議参加者が少ない／指導者の不足／新規加入者が増えない／事務局職員の業務量の過大／人員不足／会員の高齢化／障がい者の伴走ができる晴眼者の不足／活動施設の確保)

- スポーツ機会の充実に関しては、施設利用や推進体制上の課題があります。

(施設利用…施設の利用時間枠の拡大／利用料金の低価格化／情報発信／各団体の施設利用競合の調整)

(推進体制…市・体育協会の体制強化／スポーツ団体間の連携／八重山郡体育協会と石垣市体育協会の統一化)

- 競技力向上に関しては、指導体制や対戦機会等に関する課題があります。

(指導体制…指導者の育成・確保／一貫した指導システム／アスリートによる指導)

(対戦機会等…地元での大会開催／トップレベルのスポーツを見る機会)

【スポーツ施設に関する課題】

- スポーツ施設に関しては、日頃の体力づくりを目的とした施設や利用しやすい環境づくり等の課題があります。
（体力づくりを目的とした施設…屋内温水プール／多目的運動広場／トレーニング施設／照明付きウォーキング・ランニングコース）
（利用しやすい環境…利用時間枠の拡大／施設の増設／学校施設の有効活用）

【スポーツイベント・キャンプに関する課題】

- スポーツイベントに関しては、様々な目的を持つ参加者のニーズを踏まえて、教室、体験機会等を設ける必要があります。
- スポーツ観戦に興味がある人が多いことから、高いレベルの大会・試合の誘致・開催が望まれます。
- 本市でのキャンプ実施を積極的に展開するにあたっては、本格的な誘致活動をはじめ、各チームやアスリートに選ばれる環境づくりが求められます。
（キャンプ環境…トレーニング施設の充実／プールの利用／食事・宿泊・医療・交通環境の柔軟な対応／対戦相手／芝生施設・球場等のコンディション維持）

第3章 スポーツ推進の基本的な方向性

3-1 基本理念

本計画の基本理念を以下のとおり掲げ、この理念に基づき、本市のスポーツ施策を体系的に推進します。

躍動！感動！みんなが輝くスポーツの島！

生涯にわたって心身ともに健全な生活を営む上で、スポーツの果たす役割はますます重要となっています。市民がいいきと健康で暮らすことができ、目標や夢に向かって思い切りスポーツに挑戦できるなど、躍動感を持ちながら日々を過ごせることが大切です。

一方、スポーツは多くの人々の心を動かします。キャンプ等で来島するチームやアスリートの姿やプレーに感動しますし、また、観光で訪れた人はサイクリングやマリンスポーツ等を楽しみながら島の自然や風景などに魅了され、感動します。

「市民皆スポーツ」の理念をこれからも継承するとともに、スポーツから広がる様々な価値や効果を発揮させることにより、市民をはじめ、訪れた人も含めて、あらゆる人が輝きを放ち、活力のある「島」の実現を目指します。



3-2 施策の基本方針

基本理念を実現するために、施策の基本方針を以下のとおり定めます。

基本方針Ⅰ 市民一人ひとりが輝くスポーツの推進

市民が皆、ライフスタイルや個人の体力や年齢・目的に応じて、いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しむことができるように、運動・スポーツに参加しやすい様々な機会の充実に取り組みます。

＜施策＞ たくましい心と体を育む子どものスポーツ活動の充実
成人の健康を支えるスポーツ活動の充実
高齢者の生きがいとなるスポーツ活動の充実
障がい者の健康づくりと交流機会となるスポーツ活動の充実
誰もが気軽にスポーツに参加できる機会の提供

基本方針Ⅱ 夢と希望を与える競技スポーツの推進

競技スポーツは、挑戦する人の意欲をかき立て、観る市民の感動を呼び、そして、島に活力を与えます。県大会や全国大会などの高いレベルで活躍できるアスリートを育成できるように、各スポーツの競技力向上に資する環境づくりに取り組みます。

＜施策＞ アスリート育成環境の充実
選手を高いレベルに導く指導者の育成・活用

基本方針Ⅲ スポーツによる地域活性化の推進

アスリートによるキャンプをはじめ、マラソンや自転車などのスポーツを目的に多くの方が来島しています。これまでの経験や恵まれた地域資源を戦略的に活用しながら、スポーツを基軸として観光など関連産業への波及効果を創出できるように取り組みます。

＜施策＞ スポーツキャンプの誘致活動・受入環境の充実
スポーツイベントの継続と波及効果の創出
スポーツツーリズムの多様なコンテンツの発信
ボランティアの育成・活用
国際的イベントを盛り上げる活動の推進
関連産業の拡大

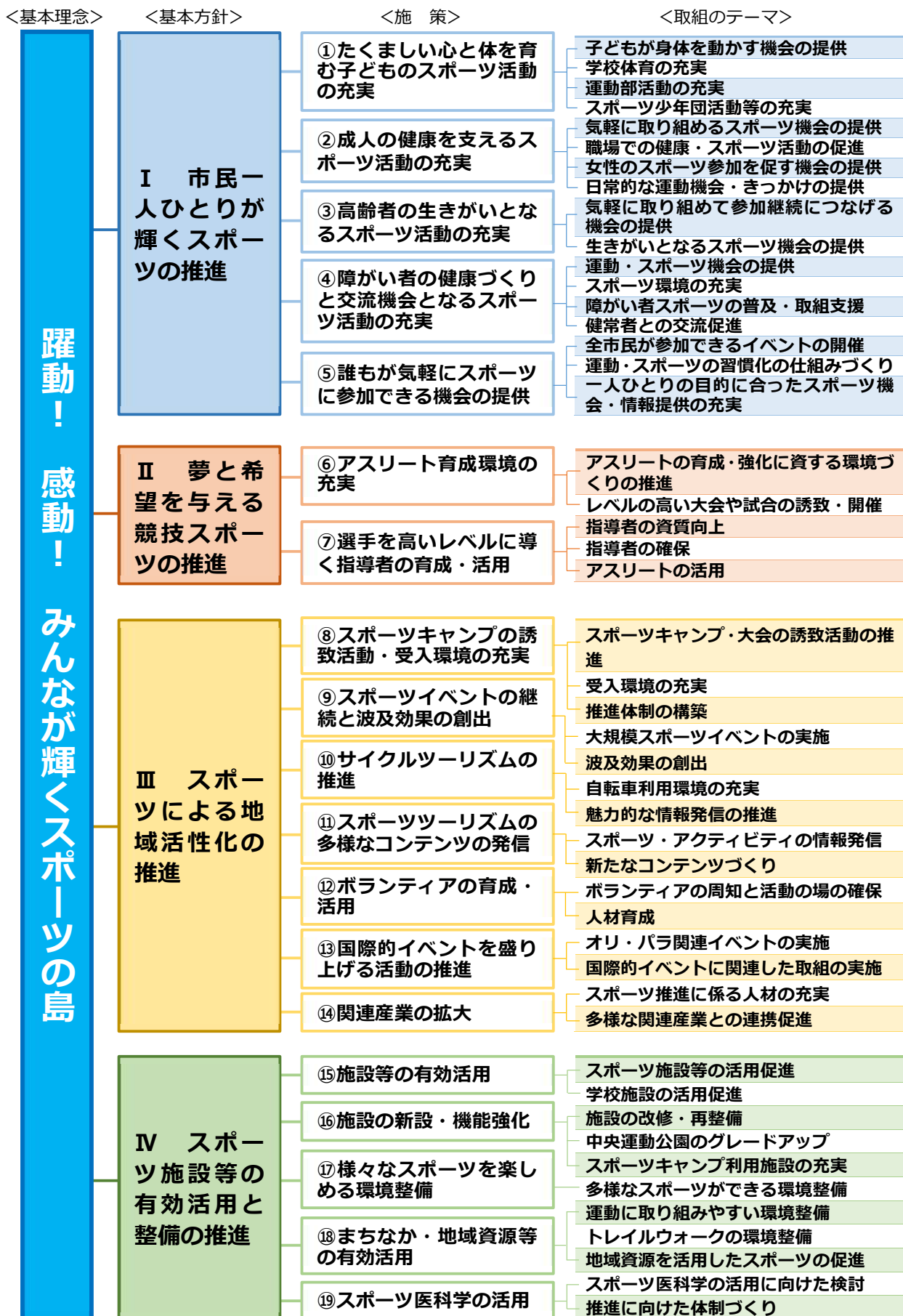
基本方針Ⅳ スポーツ施設等の有効活用と整備の推進

市民がスポーツ活動をしやすい環境をつくるため、既存施設の有効活用や改修、機能強化や新たな施設整備を推進するとともに、まちなかや地域資源を活かした運動・スポーツの場づくりなどに取り組みます。

＜施策＞ 施設等の有効活用
施設の新設・機能強化
様々なスポーツを楽しめる環境整備
まちなか・地域資源等の有効活用
スポーツ医科学の活用

3-3 施策体系

基本理念及び基本方針に基づく施策の体系は、以下のとおりです。



第4章 施策

4-1 基本方針Ⅰ 市民一人ひとりが輝くスポーツの推進

運動不足で体力に自信がなく、スポーツをする時間や機会がない市民が多く存在している現状を克服するため、全ての市民がスポーツに取り組みやすくなるような施策展開が必要となります。そのため、様々な年代やライフスタイル等に応じて、気軽に参加できる機会をはじめ、継続的に健康づくりや交流ができる場の創出など、関係団体等の経験・ノウハウを活かしながら、幅広い取組を推進します。

目標指標	現状値（令和元年度）	目標値（令和11年度）
成人のスポーツ実施率※ ²	45%	65%

※² 運動・スポーツを週1回以上実施している人の割合（第2期スポーツ基本計画の目標値65%）

施策

① たくましい心と体を育む子どものスポーツ活動の充実

幼少期は、運動習慣を遊びの中で身につけられるように、親と一緒に楽しめる教室の拡充を図るとともに、各種スポーツ教室やイベント等を開催します。

少年期は、運動習慣の定着化に重要な時期となります。遊びを中心とした基礎体力と運動能力を高めるため、小学校での体育授業の充実やスポーツ少年団、地域スポーツクラブ、さらには放課後児童クラブ等の活動において、スポーツに親しむ機会の提供を図ります。

中学校では、体育や運動部活動の充実を図るため、外部指導者の有効活用や中・高校部活動の交流や複数校による合同運動部活動の実施、地域のスポーツクラブ等との連携など、様々な施策を検討していきます。

取組のテーマ	内 容
子どもが身体を動かす機会の提供	・ 幼児向けの教室・イベントの実施 ・ 親子で身体を動かす機会の提供（親子体操、スポーツ教室等） ・ 空手道・郷土の踊り等の導入 ・ 地域スポーツクラブ等におけるスポーツ機会の提供
学校体育の充実	・ 新たなスポーツ種目の活用（運動が苦手な子どもも楽しめる種目の導入） ・ 学校体育とスポーツ少年団等との連携促進
運動部活動の充実	・ 学校体育経営指導者派遣事業の導入 ・ 複数校合同運動部活動の促進 ・ 中学校・高校部活動の交流の実施 ・ 部活動時間の基準の確立
スポーツ少年団活動等の充実	・ スポーツ少年団への支援

② 成人の健康を支えるスポーツ活動の充実

成人は、ライフステージの変化（就職、結婚、育児等）に伴いスポーツ活動が減少する時期であるため、個人の体力や生活のリズムに合わせて、気軽にスポーツに取り組める機会を提供し、スポーツ活動の定着化、日常化を促進していきます。

特に、女性は、子育て世代を中心にスポーツ参加率が低くなっていることから、参加しやすい場として、美容や健康など、女性の興味を喚起しながら、スポーツ参加を促すきっかけづくりを行います。

また、中年期は、心身が疲れやすく、スポーツや身体活動量の減少による生活習慣病やメタボリック症候群などが懸念されるため、身近な場所で日常的に、仲間や一人でも気軽に取り組めるスポーツプログラムの充実に努めます。

取組のテーマ	内 容
気軽に取り組めるスポーツ機会の提供	・ 軽スポーツなど多様な種目の体験機会の提供 ・ 各種スポーツ教室の実施 ・ スポーツクラブや競技団体等による体験・教室イベントの実施
職場での健康・スポーツ活動の促進	・ 健康診断とあわせた体力測定の実施 ・ 商工会と連携した企業の運動・スポーツ推進 ・ 運動・スポーツに積極的に取り組む企業への表彰
女性のスポーツ参加を促す機会の提供	・ 商業施設等における健康・スポーツイベントの開催（ヨガ、エアロビクスなど） ・ 子どもと一緒に参加できる教室の開催（子ども向けと母親向けを同時開催など）
日常的な運動機会・きっかけの提供	・ ウォーキングや体操のイベント機会の充実 ・ 健康マイレージの導入の検討 ・ 一定期間での体脂肪減少を競うキャンペーン等の実施

③ 高齢者の生きがいとなるスポーツ活動の充実

高齢者は、健康で生き活きと過ごせるように、生活習慣病や寝たきりの予防、生きがいづくりなど様々な観点からスポーツの推進を図る必要があることから、だれもが無理なく楽しめる運動プログラムや健康教室・体力づくり等の充実に図ります。

また、高齢者が目標を持って日々を過ごせるように、ねんりんピック等の競技大会への参加や入賞を目指した取組の支援や、各種大会でのシニア部門の設置を促進します。

取組のテーマ	内 容
気軽に組み合わせて参加継続につなげる機会の提供	・ 定期的な健康イベントの開催（ラジオ体操、ウォーキングの継続参加者への表彰など） ・ 軽スポーツの体験、交流イベントの開催（ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフなど） ・ 福祉施設によるスポーツを取り入れたレクリエーションの実施
生きがいとなるスポーツ機会の提供	・ ねんりんピック等の種目に関する教室・体験イベントの開催 ・ 各種スポーツ大会におけるシニア部門の設置促進

④ 障がい者の健康づくりと交流機会となるスポーツ活動の充実

障がいのある人にとって、スポーツは健康維持・増進やリハビリテーションに役立つとともに、社会参加や交流の促進に大きく貢献するなど、重要な役割を果たしています。

今後も、障がい者一人ひとりの状況に応じてスポーツを楽しめるよう、障がい者のスポーツ活動を支援するとともに、スポーツに取り組める機会の充実に努めます。

取組のテーマ	内 容
運動・スポーツ機会の提供	・障がい者を対象としたスポーツ教室・体験イベントの開催 ・福祉施設によるスポーツを取り入れたレクリエーションの実施
スポーツ環境の充実	・競技団体の育成・活動の充実（障がい者向けの競技団体の育成、既存の競技団体や総合型スポーツクラブ等における障がい者の参加など） ・障がい者が利用しやすい施設環境整備（バリアフリー化等）
障がい者スポーツの普及・取組支援	・八重山地区や沖縄県の障がい者スポーツ大会の周知と参加促進 ・大会種目に関する教室・体験イベントの開催 ・パラスポーツアスリートとの交流
健常者との交流促進	・スポーツ団体と障がい者関係団体の連携

⑤ 誰もが気軽にスポーツに参加できる機会の提供

様々なスポーツイベントの開催及び開催支援により、全ての市民にスポーツ機会を提供するとともに、子どもから高齢者、障がい者などがスポーツをはじめのきっかけづくりや相互交流ができる機会を提供します。

また、日常生活に運動・スポーツを取り入れることで健康を維持できるように、習慣化の仕組みづくりに取り組みます。

さらに、市民一人ひとりのニーズに対応し、あらゆる人がスポーツに取り組めるように、多様なスポーツ環境の充実を図るとともに、健康・スポーツに関する情報提供に努めます。

取組のテーマ	内 容
全市民が参加できるイベントの開催	・市民向けの大規模スポーツイベントの開催継続（チャレンジデー・市民サッカーまつり・市民大運動会等）
運動・スポーツの習慣化の仕組みづくり	・健康マイレージの導入の検討（再掲） ・一定期間での体脂肪減少を競うキャンペーン等の実施（再掲）
一人ひとりの目的に合ったスポーツ機会・情報提供の充実	・スポーツ団体（体育協会、総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団、サークル等）の活動の充実 ・公民館が実施する活動の充実 ・民間が実施するスポーツイベント・大会・スクール等の促進 ・運動の多様な目的やレベルに合った指導者の確保・活用 ・健康・スポーツに関する情報提供（HP や SNS の活用、健康づくりや様々な「する」「見る」「支える」スポーツの情報提供）

4-2 基本方針Ⅱ 夢と希望を与える競技スポーツの推進

競技力を高めるため、競技団体や指導体制等の課題に対応して、アスリートを育成する環境や指導者の充実を図るとともに、大会や試合を通じて経験を増やし、上達や成長につながる機会の創出に取り組みます。

■ 施策

⑥ アスリート育成環境の充実

各種大会で活躍できるアスリートを育成するため、体育協会や競技団体等の育成・強化を図ります。

また、質の高い試合やアスリートの競技を間近に見て取組意欲を高めてもらえるように、レベルの高い大会や試合の誘致を図ります。全国大会等に出場する個人または団体に対し、島外遠征費用の支援を行うことで競技者の意欲向上に努めます。

取組のテーマ	内 容
アスリートの育成・強化に資する環境づくりの推進	・スポーツ団体の育成・強化（体育協会、総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団、企業クラブ） ・大会・試合参加のための島外遠征への支援
レベルの高い大会や試合の誘致・開催	・全国・県大会等の誘致・開催 ・練習試合・対抗試合等の実施支援 ・県内外都市及び近隣諸国とのスポーツ交流の促進

⑦ 選手を高いレベルに導く指導者の育成・活用

体育協会やスポーツ団体等と連携し、研修会などを開催し、指導者の専門性を高めるとともに資質の向上を図る機会を充実します。

また、指導者を複数のチーム・組織で共有するなど効果的な活用を図るとともに、島内外の指導者を様々なネットワークを通じて確保するとともに、現役または引退したアスリートによる指導機会の創出に努めます。

取組のテーマ	内 容
指導者の資質向上	・各種研修会の開催と指導方法の改善・促進
指導者の確保	・指導者（コーチ、インストラクター、トレーナー等）の有効活用 ・外部指導者の活用 ・指導者への支援の検討
アスリートの活用	・アスリート（現役、OG・OB）による指導機会の創出、継続的な指導者としての活用

4-3 基本方針Ⅲ スポーツによる地域活性化の推進

スポーツの捉え方の広がりやを踏まえ、より一層の波及効果の創出を目指して、積極的なキャンプ誘致や大規模なイベントの魅力発信等を行うとともに、本市の特性を活かしたスポーツツーリズムの展開を推進します。

目標指標	現状値（令和元年度）	目標値（令和 11 年度）
スポーツキャンプ・合宿件数	23 件／年	30 件／年※ ³

※³施設の市民利用との兼ね合いを考慮し、年間 30 件を上限とする目標値

■ 施策

⑧ スポーツキャンプの誘致活動・受入環境の充実

市民に夢と希望を与え、島の活性化につなげるとともに、本市の魅力を国内外にアピールする機会として、今後もスポーツキャンプ地として多数のアスリートやチームに利用していただけるように、積極的な誘致活動を実施します。

キャンプが満足度の高いものとなり、今後も本市を選んでいただけるように、練習施設、食事、宿泊、交通等の様々な面でのサポートを行い、また、市民との交流機会の創出など、関係者と連携しながら受入環境の充実を図ります。

このような取組をさらに強力に推進するため、専門的に実施する組織づくりを行います。

取組のテーマ	内 容
スポーツキャンプ・大会の誘致活動の推進	・キャンプ地や大会開催地としての魅力を伝える情報発信（HP や各媒体による宣伝、来島経験のあるチーム等への発信、チームや競技団体等の新規開拓など） ・キャンプ実施に関する案内・相談対応 ・パラスポーツアスリートの誘致
受入環境の充実	・キャンプ時の練習・トレーニング施設、食事、宿泊、交通、医療、対戦相手等に関する関係者との連携・調整 ・アスリートやチームのキャンプ実施期間や場所等に関する事前の情報提供 ・歓迎イベントやスポーツ教室などの交流機会の創出
推進体制の構築	・（仮称）石垣スポーツコミッションの設立

⑨ 大規模スポーツイベントの継続と波及効果の創出

本市の魅力を全国に発信するため、大規模なスポーツイベントを継続的に実施するとともに、さらに認知度を高められるような情報発信に努めます。

イベント会場やその周辺において、観光や食などの島の魅力を知ってもらう機会を創出し、参加者や付き添いで来た方の市内への回遊や再来訪につなげ、地域消費の拡大などの波及効果の創出を図ります。

取組のテーマ	内 容
大規模スポーツイベントの実施	・全国から参加者が集う大規模イベントの継続実施（石垣島マラソン、石垣島トライアスロン、グレートアース石垣島ライド） ・イベントのさらなる認知度向上に資する情報発信
波及効果の創出	・イベント会場等における島の魅力（観光、食など）のPR ・商工会や観光事業者等と連携による企画の検討・実施（参加者以外も楽しめて地域消費につなげる取組など）

⑩ サイクルツーリズムの推進

海辺や山などの自然環境と市街地や集落が織りなす島の風景を体感していただくため、自転車で島を周遊するサイクルツーリズムを推進します。

自転車の利用環境をより良いものにするための様々な環境整備を行うとともに、島のサイクリングの魅力について効果的な情報発信を行います。

取組のテーマ	内 容
自転車利用環境の充実	・観光周遊自転車ネットワークの形成（コースマップの作成、自転車が利用しやすい道路整備） ・サイクリストにやさしい環境整備（案内板、飲食店の協力等によるメンテナンス・休憩場所の確保、トイレ、シャワー・更衣室等） ・レンタル施設の充実（民間事業者との連携、多様なニーズに対応した自転車の確保など）
魅力的な情報発信の推進	・島のサイクリングの魅力を伝える情報発信（クリエイター等を活用した広告作成、多様な媒体による宣伝など）

⑪ スポーツツーリズムの多様なコンテンツの発信

本市に観光で来られる方の中には、マリンスポーツ、スカイスポーツ、自転車、トレッキング、ウォーク、バギーやセグウェイなどのアクティビティを楽しむ方も多く見られます。

島の魅力ある風景を舞台に、スポーツやアクティビティを体験できる観光スタイルを国内外へ発信するとともに、旅行会社等と連携して観光メニューとしての活用を促進します。

また、多くの客層に楽しんでもらえるような、新たなアクティビティを民間事業者等と連携して創出します。

取組のテーマ	内 容
スポーツ・アクティビティの情報発信	・スポーツを取り入れた観光スタイルの情報発信 ・観光メニューとしての活用促進（旅行会社等との連携）
新たなコンテンツづくり	・新たなスポーツ・アクティビティのメニューづくり（民間事業者との連携） ・自然（丘陵地の森林等）を活かしたアスレチック施設等の創出

⑫ スポーツを支えるボランティアの育成・活用

スポーツにおけるボランティア活動は、地域のスポーツ活動から大規模スポーツイベントのサポートまで広範囲となっています。このボランティア活動によりスポーツ活動が支えられることから、スポーツを支え育てる意義を啓発し、ボランティアとして関わる機会の充実を図ります。

また、大規模イベントをはじめ、各種大会等で活躍されているスポーツボランティアの資質向上のため、研修会等の開に努めます。

取組のテーマ	内 容
ボランティアの周知と活動の場の確保	・ スポーツボランティアの意義の周知 ・ ボランティア参加機会の充実・ 情報発信
人材育成	・ 大規模イベントや各種大会時における研修の実施

⑬ 国際的スポーツイベントを盛り上げる活動の推進

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレーが本市で実施されることから、大会への機運を高めるためのイベントを実施します。また、大会のホストタウンとして、サンマリノ共和国及びルクセンブルクの選手や関係者を大会終了後に招き、地元の食、伝統芸能の体験をしてもらう交流活動を行います。

さらに、国内で開催されるワールドマスタースゲームズ 2021 関西をはじめ、今後開催される国際的スポーツイベント等を盛り上げるため、市民への情報発信を行います。また、状況に応じて、地元選手やキャンプで来島しているチーム等を応援するイベントの実施や、パブリックビューイングの開催により多くの市民と一緒に観戦する機会の創出などの機運醸成を図ります。

取組のテーマ	内 容
オリンピック・パラリンピック関連イベントの実施	・ 聖火リレーイベントの実施 ・ ホストタウン交流プログラムの実施（対象国：サンマリノ共和国、ルクセンブルク）
国際的イベントに関連した取組の実施	・ 市にゆかりのある選手・チームの応援イベントの開催 ・ パブリックビューイングの開催

⑭ スポーツ関連産業の拡大

スポーツ産業は、市民等のスポーツや健康づくりの支援をはじめ、スポーツ施設や用品等の直接的に関わる産業に加えて、観光、健康、食、ものづくり等との連携も含めれば幅広く関連産業が存在します。今後、市民スポーツとスポーツツーリズム等を推進していくにあたっては、スポーツをはじめ様々な経験・ノウハウを有する人材・企業等と連携を図ることが必要であり、それにより雇用創出や市民所得の向上など地域活性化への波及効果が期待されます。

そのため、スポーツを支える人材の充実を図るとともに、異業種と連携しやすくなるような機会の創出を図ります。

取組のテーマ	内 容
スポーツ推進に係る人材の充実	・スポーツを支える人材の確保（市民、本市出身者、移住者、アスリート経験者等の雇用創出）
多様な関連産業との連携促進	・関連産業に関するセミナー等の開催（沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会の活用） ・スポーツ業界と関連産業のマッチング機会の創出（観光、宿泊、健康、医療、飲食・栄養、イベント、IT、交通、ものづくり等） ・スポーツ食の開発（身体づくりや疲労回復に効果的な食品） ・スポーツ＋観光プログラムの充実（キャンプ応援ツアー、多様なアクティビティ体験等）

4-4 基本方針Ⅳ スポーツ施設等の有効活用と整備の推進

スポーツ施設の不足や気軽に運動できる環境整備等の課題に対応するため、施設の有効活用や再整備による充実を図るとともに、様々なスポーツができる地域づくり等を推進します。

施策

⑮ スポーツ施設等の有効活用

市内のスポーツ施設を日常的な利用を促進するため、料金や時間の見直しや、公園施設で運動・スポーツのイベント等を実施するなど柔軟な活用を検討します。また、各種団体等による施設利用の競合を避けるため、合同会議等による日程調整を実施します。

学校の運動施設については、放課後や休日の一般利用が行いやすくなるように、利用方法の周知や工夫を図ります。

取組のテーマ	内 容
スポーツ施設等の活用促進	・施設利用の料金・時間の見直し ・公園施設のスポーツ利用の促進 ・イベント利用時の関係団体等の調整会議の実施
学校施設の活用促進	・体育館、グラウンド等の利用方法の周知 ・利用手続きの簡素化

⑯ スポーツ施設の新設・機能強化

市内の老朽化したスポーツ施設については、誰もが使いやすい施設になるよう、順次、改修や再整備に取り組むこととし、市民からニーズの高いトレーニング施設は、体力の維持増進を図る人とアスリートといったレベルに合わせた環境整備を行います。

多くの市民が利用する中央運動公園を日頃の運動・体力づくりに活用しやすい施設として機能強化を図ります。

また、キャンプで利用するチームやアスリートの満足度を高め、継続的に来島してもらえるように、練習・トレーニング環境の充実に努めます。

取組のテーマ	内 容
施設の改修・再整備	・老朽化施設や利用ニーズに合わない施設の改修・再整備 ・バリアフリー化への改修 ・レベルに合ったトレーニング施設の充実
中央運動公園のグレードアップ	・ウォーキング・ジョギングコースの整備 ・老朽化施設の改修（陸上競技場スタンド等） ・屋内プールの新設 ・低利用空間の再整備（多目的広場の拡張、駐車場の拡張等）
スポーツキャンプ利用施設の充実	・基礎トレーニング施設の充実（陸上競技場内施設） ・屋内プールの新設（再掲） ・芝生のメンテナンスの充実（サッカーパークあかんま、中央運動公園陸上競技場、野球場）

⑰ 様々なスポーツを楽しめる環境整備

子どもや若い世代がスポーツをするきっかけとなるように、新たにオリンピック種目となったスポーツを気軽に楽しむことができる場の創出を図ります。

また、市民をはじめ観光で来た人も、地域特有の様々なスポーツを楽しめるような体験機会やイベント等を実施します。

取組のテーマ	内 容
多様なスポーツができる環境整備	・ストリートスポーツ等の環境整備（スケートボード、BMX、3×3 バスケットボール、ボルダリング等） ・マリンスポーツ・スカイスポーツの普及・促進（指導者の育成・確保、体験機会の提供、イベント実施等） ・地域の特色あるスポーツの普及・促進（グラウンドゴルフ、アルティメット、タグラグビー、スーパードッジ等の指導者の育成・確保、体験機会の提供、イベント実施等）

⑱ まちなか・地域資源等の有効活用

身近に運動できる場として、市街地や旧空港跡地などでウォーキングやサイクリングをしやすい環境づくりを行うとともに、自然を体感しながら運動する場として、バンナ公園や平久保などでのトレイルウォークをより促進するための施設整備を推進します。

取組のテーマ	内 容
運動に取り組みやすい環境整備	・まちなかのウォーキングコース整備（市街地、旧空港跡地等）の推進 ・まちなかの自転車ネットワークの形成（コースマップの作成、自転車が利用しやすい道路整備）
トレイルウォークの環境整備	・丘陵地等のトレイルウォーク環境整備（バンナ公園や平久保等のコースマップ作成・情報発信、駐車場・トイレ・更衣室等の整備）の推進
地域資源を活用したスポーツの促進	・河川等を活かしたスポーツの促進（底地ビーチ、名蔵アンパル、宮良川等におけるカヤック・カヌー等） ・ダムを活用したスポーツの支援（マリンスポーツ等）

⑲ 健康・競技力向上に資するスポーツ医科学の活用

近年では、一般市民の健康づくりやアスリートのパフォーマンス向上等のためにスポーツ医科学が取り入れられてきています。今後の導入を見据えて、他都市の事例や連携体制等について検討し、試行的な取組からはじめて運用を目指します。

取組のテーマ	内 容
スポーツ医科学の活用に向けた検討	・他都市事例等の研究実施 ・県の関係機関との連携による試行運用（沖縄県スポーツ医・科学サポートプログラムの活用）
推進に向けた体制づくり	・医療機関等との連携体制の構築 ・健康づくり・パフォーマンス向上等のプログラム実施体制の構築（スポーツ関係団体等との連携）

第5章 推進体制

5-1 施策・取組の進行管理

計画の実現においては、施策・取組の推進についての進行管理を行う必要があります。PDCAマネジメントサイクルの考え方のもとで、石垣市スポーツ推進計画における施策に基づく取組内容を検討・実施し、その実施状況や効果の検証、改善策の検討を通じて、取組を見直す一連のプロセスにより運用します。

計画の進行管理にあたっては、スポーツに関する関係団体や行政職員等で構成する「(仮称)石垣市スポーツ推進審議会」の意見を聴きながら、進捗状況を確認するとともに、取組内容の検討や見直しを行います。



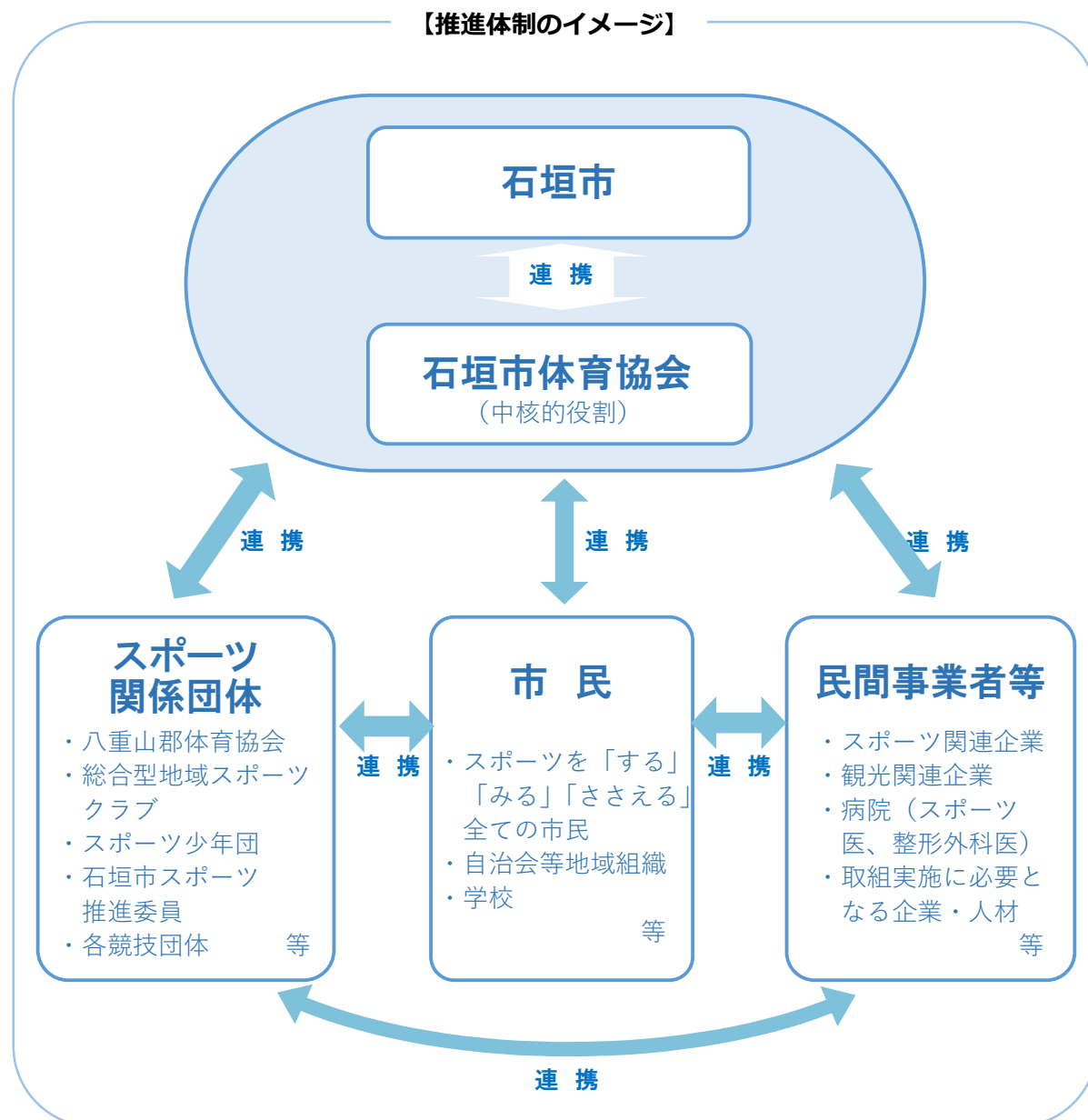
5-2 推進体制

これまで本市のスポーツ施策・取組は、市が主導してきた取組、体育協会やスポーツ関係団体等が進めてきた取組など、多様な形態があります。

そのため、本市のスポーツ推進においては、各主体を横断的に連携させ、調整を図ることが重要であり、それが実施できる推進体制の構築が求められます。

この推進体制の中核として相応しい組織は、「石垣市におけるスポーツ・レクリエーション振興に関する事業を行い、市民の体力向上とスポーツ精神の涵養を図ると共に、市民憲章に掲げる『教育の町』『健康の町』づくりに寄与することを目的」に活動している一般社団法人石垣市体育協会です。

そのため、石垣市体育協会が、人材の充実を図りながら、市、スポーツ関係団体、市民（スポーツを「する」「みる」「ささえる」市民、自治会等の地域組織、学校等を含む）や民間事業者等との情報や意見の交換を通じて相互に連携して、本計画に基づく施策・取組を実施します。



5－3 体制の充実に向けて

本市のスポーツ推進を強力に展開する上では、市民のスポーツ活動の充実はもとより、スポーツツーリズムに係る取組が重要となります。そのためには、キャンプや大会等の誘致活動をはじめ、受入時の練習・トレーニング施設、宿泊施設や交通手段等の相談対応、また、国内外の人々に向けてスポーツを取り入れた観光情報を発信するプロモーション活動などを、専門的に行える体制の構築が必要となります。

そこで今後は、スポーツツーリズムに係る施策・取組を実施する組織として、石垣市体育協会がその役割を担い、「(仮称) 石垣スポーツコミッション」の設立を目指します。